Dell™ Axim™ X50

オーナーズマニュアル

モデル　HC03U、HC03UL、および HD04U

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、101 ページの「用語集」を参照してください。

モデル HC03U、HC03UL、および HD04U

2004 年 11 月　　P/N R6113　　Rev. A02

目次

1 お使いのデバイスについて

2 Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition の使い方

3 情報の入力

4 設定の調整

5 Microsoft® ActiveSync® プログラムの使い方

6 スケジュールおよび通信

7 プログラムの追加と削除

8 付属プログラムの使い方

9 Microsoft® Pocket Internet Explorer の使い方

10 接続

11 付録

警告：安全にお使いいただくための注意

デバイスを安全にお使いいただくため、次の注意事項に従い、ご自身の安全を確保して、デバイスと作業環境を損傷の恐れから守りましょう。

安全について：一般的注意事項

- 訓練を受けたサービス技術者でない限り、ご自分でデバイスの修理をなさらないでください。取り付けの手順には必ず従ってください。
- AC アダプタに延長電源ケーブルをつないで使用する場合は、延長電源ケーブルに接続されている製品の定格電流の合計が延長ケーブルの定格電流を超えないことを確認してください。
- デバイスの通気孔や開口部に異物を押しこまないでください。開口部に異物を押し込むと、内部の部品がショートして、発火や感電の原因となる場合があります。
- 暖房器具や熱源の近くにデバイスを置かないでください。また、冷却用の通気孔を塞がないでください。デバイスの下に紙などを敷かないでください。また、押し入れの中や、ベッド、ソファ、カーペットの上にデバイスを置かないでください。
- AC アダプタをデバイスの駆動またはバッテリーの充電に使用するときは、机の上や床の上など換気の良い所に AC アダプタを置いてください。冷却の妨げになるので、紙や他のものを AC アダプタにかぶせないでください。また、キャリーケースに入れたまま AC アダプタを使用しないでください。
- AC アダプタは通常のデバイスの動作中でも熱くなることがあります。AC アダプタの使用中または使用した直後は、取り扱いにご注意ください。
- お風呂場や流し、プールの近く、または地下室などのような湿気の多い所でデバイスを使用しないでください。
- お使いのデバイスに内蔵またはオプション（PC カード）のモデムが搭載されている場合は、電話回線を介した落雷による電撃のわずかな危険も避けるため、激しい雷雨時にはモデムケーブルを外してください。
- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、および本製品のメンテナンスや再設定作業を行わないでください。すべてのケーブルを外して、バッテリー電源でデバイスを駆動する場合を除き、雷雨時にはデバイスを使用しないでください。
- デバイスにモデムが内蔵されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で、FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- PC カードは通常の動作でもかなり熱くなることがあります。長時間連続して使用した後に PC カードを取り出す際は、注意してください。
- デバイスをクリーニングする前に、デバイスのプラグをコンセントから抜きます。デバイスのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

安全について：電源

- このデバイスでの使用を認められたデル製の AC アダプタのみをお使いください。別の AC アダプタを使用すると、発火または爆発を引き起こすことがあります。
- デバイスをコンセントに接続する前に AC アダプタの定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要要件が接続する電源と適合していることを確認してください。
- デバイスの電源を遮断するには、デバイスの電源を切って AC アダプタを電源コンセントから抜いて、バッテリーベイに取り付けられているバッテリーを取り外してください。
- 感電を防ぐため、AC アダプタおよびデバイスの電源ケーブルは、正しい方法でアースされているコンセントに差し込んでください。これらの電源ケーブルには、アース接続用に三芯プラグが使用されていることがあります。アダプタプラグを使用したり、アース用の

芯を電源ケーブルのプラグから取り外したりしないでください。延長電源ケーブルを使用する場合は、二芯または三芯の適切な種類を使用して AC アダプタの電源ケーブルに接続してください。

- AC アダプタの電源ケーブルの上に物を載せないでください。また、引っかかったり、電源ケーブルが踏まれる恐れのある場所に電源ケーブルを設置しないでください。
- 複数のコンセントがある電源タップを使用する場合は、電源タップに AC アダプタの電源ケーブルを差し込む際に注意が必要です。電源タップの中には、不適切なつなぎ方でも差し込めるものがあります。不適切なつなぎ方で電源プラグを挿入すると、感電または発火の危険があるだけでなく、デバイスに永続的な損傷を与える恐れがあります。電源プラグのアース芯が電源タップのアース接続端子に挿入されていることを確認してください。

安全について：バッテリー

- このデバイスでの使用を認められた Dell™ バッテリーモジュールのみを使用してください。別の種類を使用すると、発火または爆発の危険性が増す場合があります。
- 車の鍵、クリップなどの金属製品でバッテリーの端子がショートする恐れがあるので、バッテリーパックをポケット、ハンドバッグ、またはその他の入れ物に入れて持ち歩かないでください。ショートすると過度の電流が流れて高温となり、バッテリーパックの損傷または発火ややけどの原因になることがあります。
- バッテリーを正しく取り扱わないと、やけどの原因になります。バッテリーを分解しないでください。破損または液漏れしているバッテリーパックは、十分注意して取り扱ってください。バッテリーが破損している場合は、電池から電解液が漏れていることがあり、けがの原因となることがあります。
- バッテリーはお子様の手の届かない所に保管してください。
- デバイスやバッテリーパックをラジエータ、暖炉、ストーブ、電気ヒーター、またはその他の発熱器具などの熱源の近くに保存または放置したり、60 ℃を超える温度にさらしたりしないでください。過度の高温にさらされると、バッテリー電池が破裂したり、穴が開いたり、発火の原因になったりすることがあります。
- デバイスのバッテリーを焼却したり、家庭用の一般ごみと一緒に捨てないでください。バッテリーが破裂する恐れがあります。バッテリーの廃棄先に関しては、最寄りのゴミ処理担当窓口へお問い合わせください。使用済みまたは破損したバッテリーはすみやかに廃棄してください。

安全について：航空機での利用

- 飛行機内では、Dell デバイスを使用する際に連邦航空局の一定の規制および航空会社固有の制限が適用されることがあります。たとえば、そうした規制や制限により、無線周波数またはその他の電磁信号を意図的に送信する機能のある個人用電子機器（PED）の機内での使用が禁止されている場合があります。
  - このような制限に適切に従うために、お使いの Dell ノートブックや小型デバイスに Dell TrueMobile™ またはその他のワイヤレス通信デバイスが装備されている場合は、搭乗前にこれらのデバイスを無効にし、乗務員の指示に従ってください。
  - さらに、離着陸など飛行中の特定の重要な段階においては、ポータブルデバイスなどの PED の使用が禁止されている場合があります。航空会社によっては、重要な飛行段階として飛行機の高度が 3,050 m（10,000 ft）以下の場合と具体的に定義している場合もあります。PED が使用できる時期に関しては、航空会社の指示に従ってください。

安全について：電磁的両立性に関する注意

シールド付き信号ケーブルの使用により、目的の環境に適用される電磁的両立性分類基準を満たすことができます。

静電気は、デバイス内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、メモリモジュールなどのデバイスの電子部品に触れる前に、身体の静電気を除去してください。塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

デバイスの使用

デバイスへの損傷を防ぐため、次の注意事項を守ってください。

- デバイスのセットアップを行うときは、平らで水平な面にデバイスを置きます。
- デバイスを出張などに持って行く場合は、荷物として預けないでください。X 線探知機にデバイスを通してもかまいませんが、金属探知機には絶対に通さないでください。係官がデバイスを検査する場合、デバイスの電源を入れるように指示することがありますので、充電済みのバッテリーパックをご用意ください。
- デバイスを出張などに持って行く場合は、中で激しく動く可能性がありますので、乗り物の頭上の荷物入れにコンピュータを入れないでください。デバイスを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- デバイスおよびバッテリーを、汚れ、ほこり、食物、液体、極端な温度変化、および太陽光の照射などの環境危険から保護してください。
- 温度や湿度が極端に異なる環境にデバイスを移動すると、デバイス表面や内部に結露が発生することがあります。デバイスへの損傷を防ぐため、湿気がなくなるまで時間をおいてからデバイスをお使いください。

注意：低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにデバイスを移動する場合、しばらく室温に慣らしてからデバイスの電源を入れてください。

- ケーブルを外す際は、ケーブルそのものを引っ張らずに、コネクタやストレインリリーフループをつかんで抜いてください。コネクタを引き抜くときは、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引いてください。また、ケーブルを接続するときは、両方のコネクタがまっすぐに向き合っていることを確認してください。
- 部品はていねいに取り扱ってください。メモリモジュールなどはピンを持たずに、端を持ってください。
- ディスプレイは、柔らかい清潔な布と水でクリーニングしてください。水で布を湿らせ、ディスプレイの上から下へ一方向に布で拭いてください。ディスプレイから湿気を素早く取り除き、乾燥させせます。長時間湿気にさらすとディスプレイを損傷する恐れがあります。ディスプレイをクリーニングするために、市販の掃除クリーナーを使わないでください。

安全について：快適な使い方

警告：無理な姿勢で長時間キーボードを使用すると、身体に悪影響を及ぼす可能性があります。

警告：ディスプレイまたは外付けモニター画面を長時間見続けると、眼精疲労の原因となる場合があります。

安全について：静電気障害への対処

静電気は、デバイス内部の電子部品を損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、メモリモジュールなどのデバイスの電子部品に触れる前に、身体の静電気を除去してください。塗装されていない金属面に触れることにより、静電気を除去することができます。

さらに、静電気（ESD）による損傷を防止するために、以下の手順を実行することもお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合は、コンピュータに部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を除去してください。

- 静電気に敏感な部品を運ぶ場合は、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気の発生しない場所で行ってください。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。

安全について：バッテリーの廃棄

お使いのデバイスには、リチウムイオンバッテリーと、充電式 NiMH バッテリーを使用します。デバイスのバッテリーの交換方法に関しては、16 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

バッテリーを家庭のゴミと一緒に捨てないでください。バッテリーの廃棄先に関しては、最寄りのゴミ処理担当窓口へお問い合わせください。

情報の検索

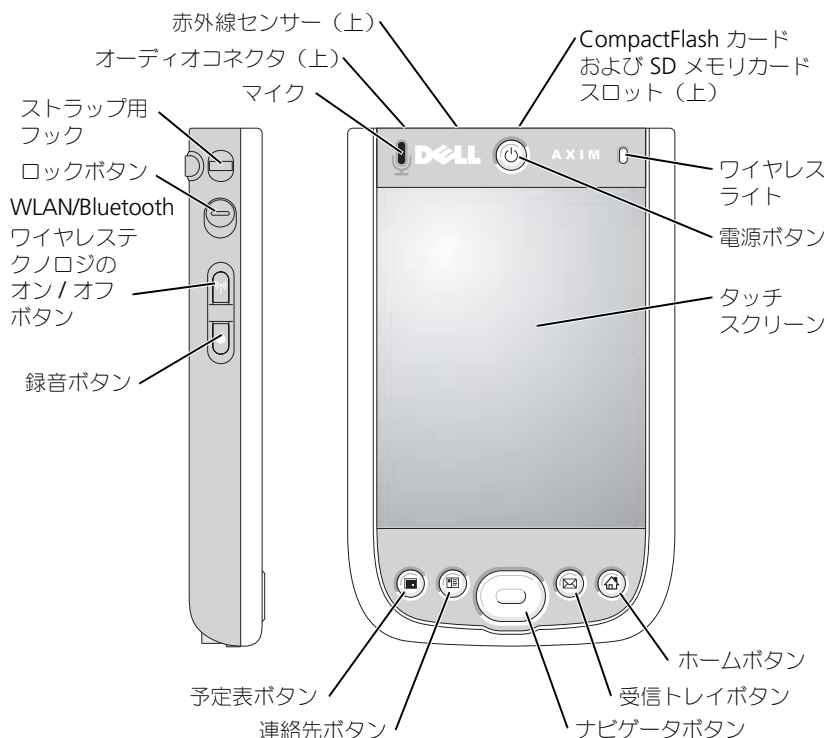
何をお探しですか？	こちらをご覧ください。
デバイスのセットアップ方法と、デバイスのコネクタとボタンについての情報	セットアップ図および Dell™『オーナーズマニュアル』
デバイスの使用に関する情報	Dell『オーナーズマニュアル』および Pocket PC ヘルプ ヘルプを表示するには、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。
デバイスにインストールできる追加プログラムについて	『Dell コンパニオン CD』
デバイスにあるプログラムの使い方	Pocket PC ヘルプ、および利用可能な場合、プログラムから **ヘルプ** をタップします。
コンピュータとの接続および同期化の方法	Dell『オーナーズマニュアル』およびコンピュータ上にある Microsoft® ActiveSync®「ヘルプ」 「ヘルプ」を表示するには、**ヘルプ** をクリックしてから **Microsoft ActiveSync ヘルプ** をクリックします。
最新アップデート情報および詳細技術情報	コンピュータの **ActiveSync** フォルダと『Dell コンパニオン CD』にある readme ファイル
Pocket PC についての最新情報	**www.microsoft.com/japan/windowsmobile**
サービスタグ	ラベルはバッテリースロット（バッテリーを外します）にあります。

1

お使いのデバイスについて

正面、側面、背面図

警告：この項の手順を実行する前に、9 ページの安全にお使いいただくための注意事項を参照してください。

正面図および側面図

赤外線センサー — 赤外線センサーを使って、ケーブルで接続せずにお使いのデバイスから別の赤外線互換デバイスにファイルを転送できます。

マイク — 音声を録音することができます。

COMPACTFLASH（コンパクトフラッシュ）カードおよび
SD メモリカードスロット — コンパクトフラッシュと SD メモリカードの使い方については、24 ページの「カードの使い方」を参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押してデバイスの電源をオンまたはオフにします。ディスプレイを暗くするには電源ボタンを長く押します。ディスプレイを明るくするには、再度長く押します。

- デバイスが外部電源に接続され、メインバッテリーが十分に充電されている場合、電源ボタンライトは緑色に点灯します。
- メインバッテリーの充電が少なくなると、電源ボタンライトは黄色に点滅します。
- バッテリーの充電中は、電源ボタンライトは黄色に点灯します。
- デバイスが通知を中継する際は、電源ボタンライトは緑色に速く点滅します。

タッチスクリーン — タッチスクリーンとリセットスタイラスを使って、デバイスに情報を入力します。37 ページの「情報の入力」を参照してください。

WLAN/BLUETOOTH® ワイヤレステクノロジのオン / オフボタン — ワイヤレスデバイスでは、ボタンを使って WLAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジの両方のオンとオフを切り替えます。ワイヤレスデバイスの電源を切ると、節電できます。非 WLAN デバイスでは、ボタンを使って Bluetooth ワイヤレステクノロジのオンとオフを切り替えます。

ホームボタン — ホームが起動したり、デバイスの電源が入ったりします。

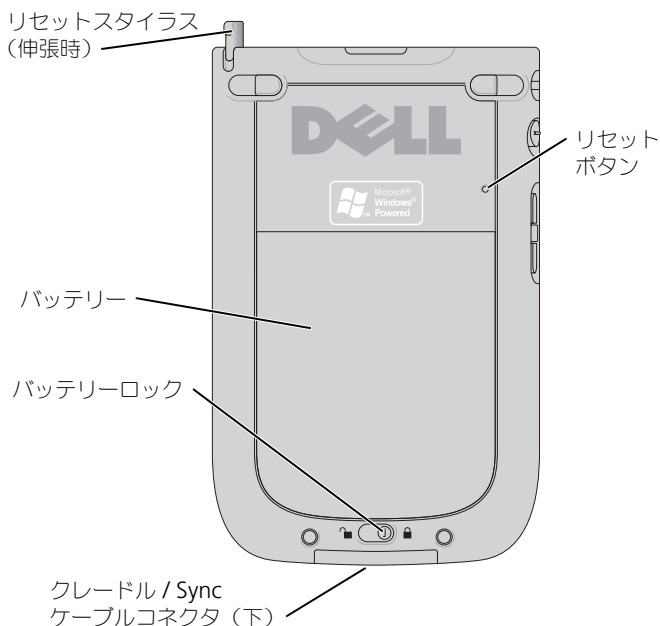
ナビゲータボタン — ナビゲータボタンの上下左右を押すと、画面上のカーソルが動きます。選択を決定する場合は中央を押します。

連絡先ボタン — 連絡先が起動したり、デバイスの電源が入ったりします。

予定表ボタン — カレンダーが起動したり、デバイスの電源が入ったりします。

録音ボタン — 録音ボタンの使い方に関しては、45 ページの「メッセージの録音」を参照してください。

ロックボタン — 不用意にキーを押して間違った反応を引き起こさないよう、デバイスをロックします。

背面図

バッテリーロック — メインバッテリーを取り外します。16 ページの「バッテリーの取り付けと取り外し」を参照してください。

バッテリー — メインバッテリーに関しては、16 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

クレードル / SYNC ケーブルコネクタ — クレードルまたは Sync ケーブルを接続します。19 ページの「コンピュータへの接続」を参照してください。

リセットボタン — リセットボタンの使い方に関しては、26 ページの「リセットの実行」を参照してください。

リセットスタイラス — リセットスタイラスを使って画面に文字や絵を描くことができます。スタイラスを取り外すには、まっすぐに引き上げてホルダから取り出します。スタイラスを紛失しないよう、スタイラスを使わないときはホルダに入れておきます。スロットに入れなおす際は、スタイラスの向きが正しいことを確認します。

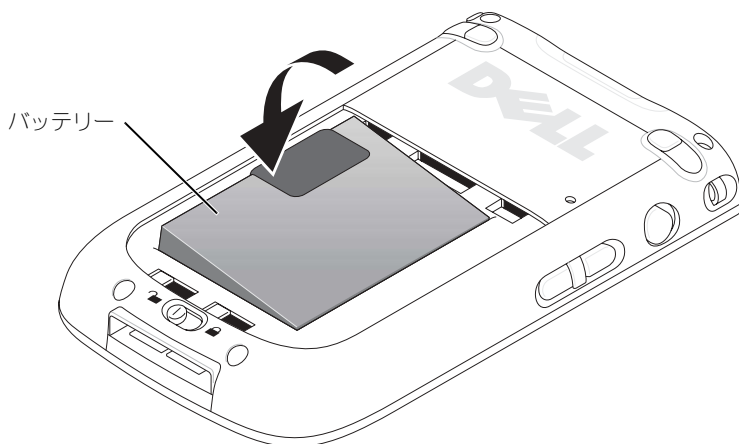
バッテリーの使い方

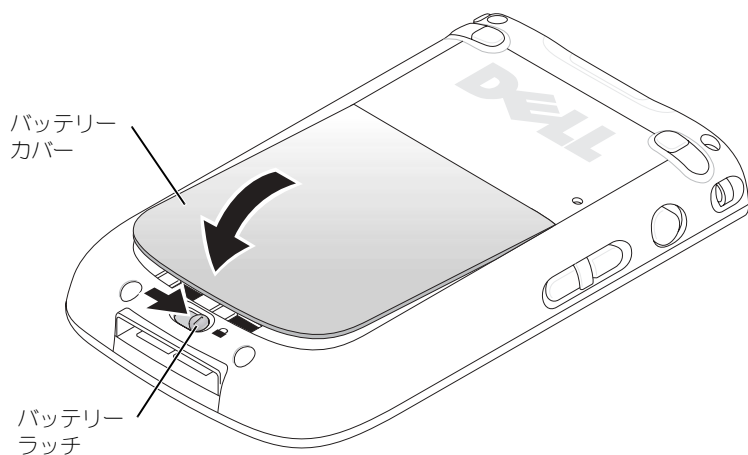
注意 : 最初の充電では、必ず 8 時間以上メインバッテリーを充電してから、デバイスを使用してください。

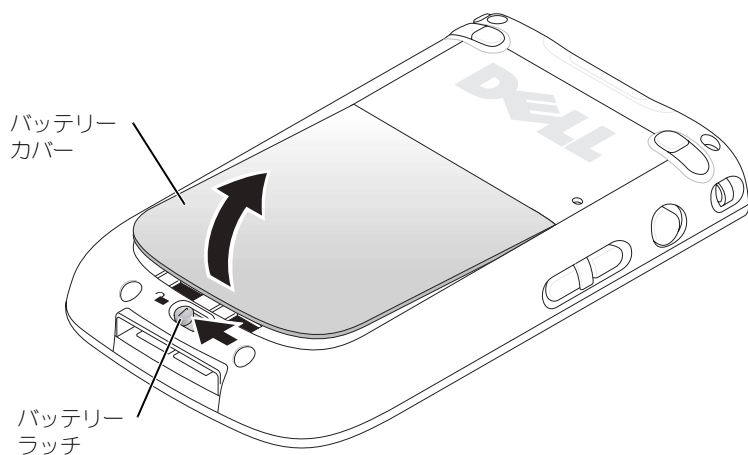
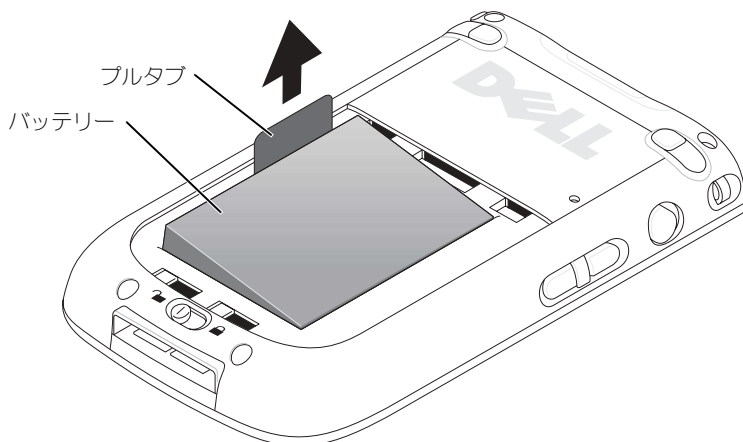
デバイスを初めてお使いになる前に、バッテリーを取り付けて充電する必要があります。バッテリーを充電したら、電源のプロパティを使って、バッテリーの充電状態を確認することができます。詳細に関しては、デバイスにある Pocket PC ヘルプを参照してください。

バッテリーの取り付けと取り外し

バッテリーを取り付けるには、次の手順を実行します。

1 デバイスの電源が切れているか確認します。
2 バッテリーの接触部をバッテリースロットの接触部に合わせ、バッテリーを挿入し、カチッとした感触があるまでバッテリーをスロットの中に押し下げます。

3 バッテリーカバーを閉じます。
4 バッテリーラッチを右側にスライドさせて、バッテリーカバーをロックします。

メモ : バッテリーが挿入され、バッテリーカバーがロックされると、すぐにデバイスの電源が入ります。

バッテリーを取り外すには：

1 バッテリーラッチを左側にスライドさせて、バッテリーカバーのロックを外します。
2 バッテリーカバーを持ち上げます。

3 タブを引き、バッテリーを持ち上げてスロットから取り出します。

メモ : サービスタグは、バッテリー下部にあります。デルサポート（**support.jp.dell.com**）へのアクセス、デルカスタマーサービスまたはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、サービスタグが必要です。

バッテリーの充電

メインバッテリーを充電するには、以下の方法のうちの 1 つを実行します。

- AC アダプタを直接充電アダプタに接続してから、デバイスに接続して、コンセントに接続します。
- AC アダプタを直接 Sync ケーブルに接続してから、デバイスに接続して、コンセントに接続します。
- AC アダプタをクレードルに接続して、デバイスをクレードルに取り付けます。詳細に関しては、19 ページの「クレードルの使い方」を参照してください。
- デバイスのクレードルをコンセントに接続されているコンピュータに接続します。21 ページの「USB による充電」を参照してください。

標準のバッテリーパック（1100mAh）は 5 時間で充電が完了します。オプションの バッテリーパック（2200mAh）は 10 時間で充電が完了します。

メインバッテリーが著しく低下している場合、デバイスは、「スリープ」モードに入り、電源が切れます。

バッテリーが著しく低下している状態から回復するには、次の手順を実行します。

1 AC アダプタを差し込むか、メインバッテリーを充電されたバッテリーと交換します。
2 電源ボタンを押してデバイスの電源をオンにします。

メインバッテリーを取り外した場合、内蔵バックアップバッテリーは、「スリープ」モードで最大 30 分間持続します。バックアップバッテリーの電源が低い場合、メインバッテリーを取り外さないでください。

デフォルトで、ユーザーが指定した時間デバイスを使用しないまま放置すると、電源が切れるようになっています。電源が切れる前にデバイスがアイドル状態になる時間を設定する方法に関しては、47 ページの「システムタブ」の **電源** を参照してください。

コンピュータへの接続

デバイスをコンピュータに接続するには、クレードルを使用するか、または Sync ケーブルを使って直接接続します。デバイスをコンピュータに接続すると、以下を実行することができます。

- デバイスへのプログラムの追加。詳細に関しては、65 ページの「Microsoft® ActiveSync® を使用した プログラムの追加」を参照してください。
- コンピュータ上のデータとデバイス上のデータの同期化

データの同期化に関しては、以下を参照してください。

- 49 ページの Microsoft® ActiveSync® プログラムの使い方
- コンピュータの ActiveSync ヘルプ
- デバイスの ActiveSync ヘルプ

クレードルの使い方

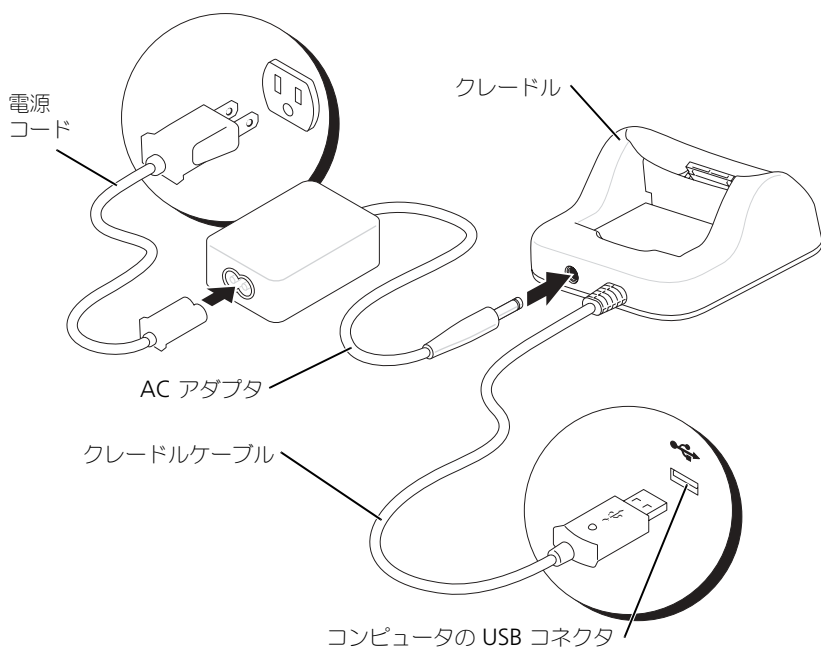
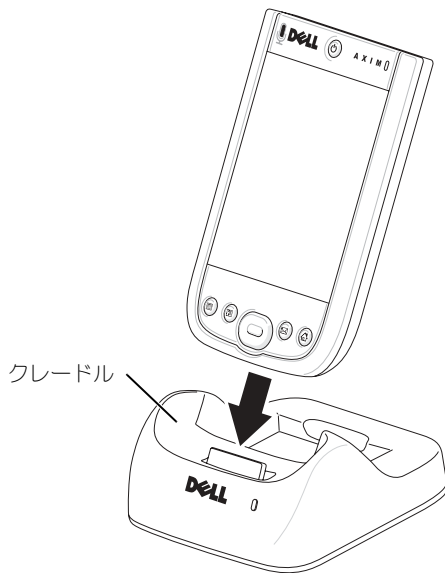
メモ : デバイスの構成によっては、クレードルはオプションになります。

クレードルを使って、以下のことができます。

- コンピュータ上のデータとデバイス上のデータの同期化
- バッテリーを節約するために、デバイスをコンセントに接続します。
- メインバッテリーの充電。詳細に関しては、16 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
- 予備バッテリーの充電

メモ : デバイスをコンピュータに初めて接続するときは、その前に『Dell™ コンパニオン CD』を使ってコンピュータに ActiveSync をインストールします。

デバイスをクレードルに接続するには、次の手順を実行します。

1 コンピュータの近くの平らな場所に、クレードルを置きます。
2 クレードルケーブルをコンピュータの USB コネクタに接続します。
3 AC アダプタをクレードルに接続して、コンセントに接続します。

4 デバイスの底面にあるコネクタとクレードルのコネクタの位置を合わせ、デバイスの正面をクレードルの正面と揃えたまま、デバイスをクレードルに下ろします。

デバイスをクレードルにドッキングすると、接続ステータスアイコンがコマンドバーに表示されます（30 ページ参照）。

クレードルの予備バッテリーのステータスライトは、以下のように動作します。

- 緑色 — 予備バッテリーは、完全に充電されています。
- 黄色 — 予備バッテリーは、充電中です。

メモ : デバイスの電源ボタンは、メインバッテリーの充電状況を示します。電源ボタンの詳細に関しては、14 ページのライトの説明を参照してください。

クレードルからデバイスを取り外すには、クレードルからデバイスをまっすぐに引き上げます。

USB による充電

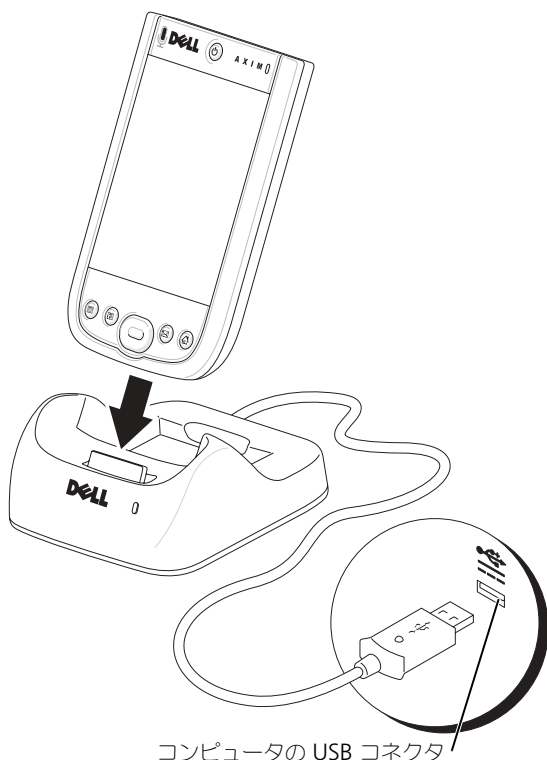
デバイスのクレードルが、USB ケーブルでお使いのコンピュータに接続していて、コンピュータがコンセントにつながれて電源が入っている場合、お使いのデバイスのバッテリーを充電できます。

メモ : デバイスの電源が入っていると USB での充電はできません。

デバイスの電源が切れているときに、5V/500mA USB ポートを使用してバッテリーを充電できます。

メモ : 5V/100mA ポートの外付けの USB ハブを使用してデバイスのバッテリーを充電すると、一時的にハブの電圧が下がり、デバイスを取り外すまでハブのポートに接続された他の USB デバイスは通常どおりに作動しない場合もあります。

メモ : USB ポートを介してバッテリーを充電すると、直接 AC アダプタで充電するよりも時間がかかります。

デバイスチャージャージャーは 7 時間後に充電をストップします。デバイスのバッテリーを 7 時間以上充電する場合は、いったん USB ケーブル を外して、充電を再開するために再度接続します。

Sync ケーブルの使い方

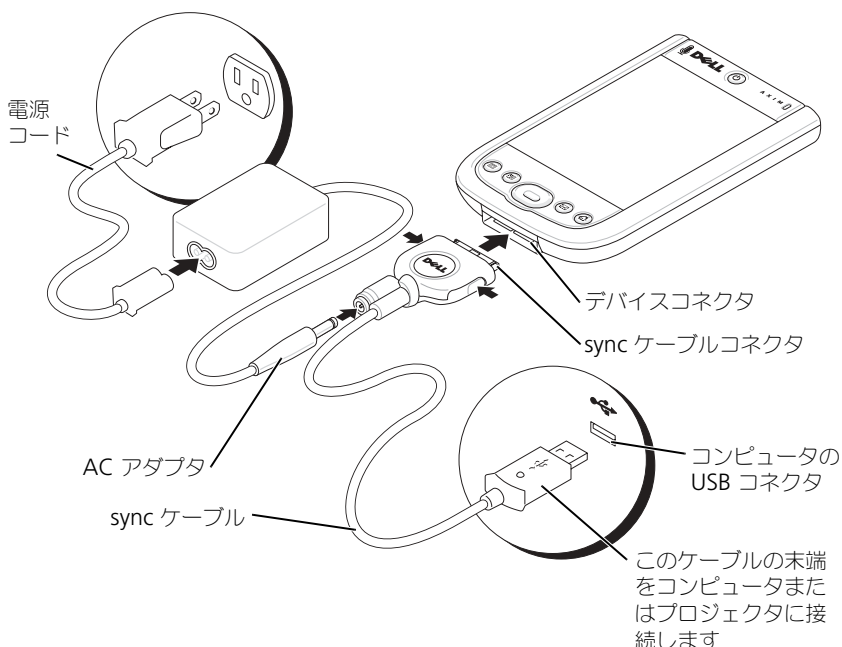
Sync ケーブルを使って、クレードルを使用せずにデバイスをコンピュータに直接接続できます。

メモ : デバイスの構成によっては、Sync ケーブルはオプションになります。

Sync ケーブルを接続するには、次の手順を実行します。

1 ケーブルの片方をコンピュータの USB コネクタに接続します。

2 ケーブルのもう片方をデバイスに接続します。

注意 : コネクタの損傷を防ぐため、コネクタ横の 2 つのボタンを押し、オートロックを解放してデバイスからコネクタを外します。

プロジェクタへの接続

VGA ケーブルを使用してデバイスをプロジェクタに接続することができます。

メモ : VGA オプションはデバイスの VGA モデルで利用可能です。

メモ : VGA ケーブルは、注文しない限り配送されません。

メモ：デバイスのための **表示** プログラムをインストールしてプロジェクタを検知する必要があります。プログラムを設定するためには、プログラムの **ヘルプ** の項を参照してください。

デバイスをプロジェクタに接続するには、VGA ケーブルの sync コネクタをデバイスに接続し、VGA ケーブルのもう一方の端をプロジェクタケーブルに接続します。表示プログラムを実行して、デバイスにプロジェクタを検知させます。

ビルトインストレージのチェック

デバイスのオンボードフラッシュメモリの量は、デバイス構成、およびオペレーティングシステムのイメージサイズにより異なります。メモリは、非揮発性なので、ここに保存されるデータは、デバイスの電源が完全に消失された場合でも失われません。

デバイスで使用できる非揮発性メモリの容量を確認するには、次の手順を実行してください。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。
2 **システム** タブ、**メモリ** の順にタップします。
3 **Storage Card（ストレージカード）**タブをタップして、ドロップダウンメニューから **Built-in Storage（ビルトインストレージ）**を選択すると、使用できる容量が表示されます。

カードの使い方

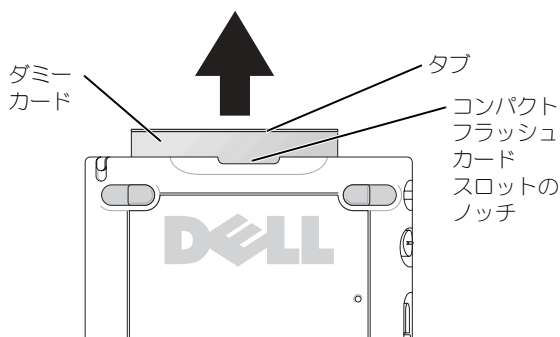
CompactFlash（コンパクトフラッシュ）カード

お使いのデバイスはコンパクトフラッシュタイプ II カードをサポートしています。一般的なカードのタイプには以下があります。

- モデム — モデムデータ通信のために電話線に接続します。
- ワイヤレス通信 — ケーブル接続を使用せずにデータ通信を行います。Bluetooth ワイヤレステクノロジの内蔵カードおよび 802.11b ワイヤレス LAN のようなカードを使用できます。
- ストレージ — ストレージカードにデータを保存またはプログラムをインストールします。

コンパクトフラッシュカードが取り付けられていない場合は、コンパクトフラッシュカードスロットを保護するためにプラスチックのダミーカードを挿入します。

コンパクトフラッシュカードを取り付けるには以下を実行します。

1 ダミーカードが取り付けられている場合は、それを取り外します。

2 コンパクトフラッシュカードの後部にあるタブをコンパクトフラッシュカードスロットのノッチに合わせ、カードをスロットにスライドします。

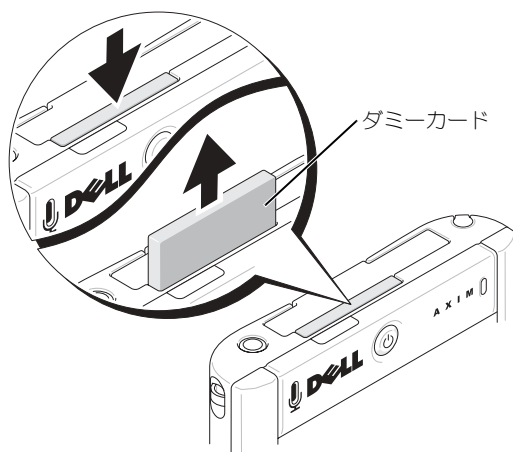
注意 : カードを無理に押し込まないでください。抵抗を感じる場合は、カードを取り出し、挿入方向を確認して、再度取り付けます。

カードの使い方に関しては、カードに付属のマニュアルを参照してください。

SD メモリカード

SD メモリカードを使用してデータの保存やバックアップを行います。

SD メモリカードを取り付けるには以下の手順を実行します。

1 カードが既に取り付けられている場合、カードを押し込んでリリースしてから取り出します。

2 カードの取り付け方向が正しいか確認して、カチッと収まるまでスロットに押し込みます。

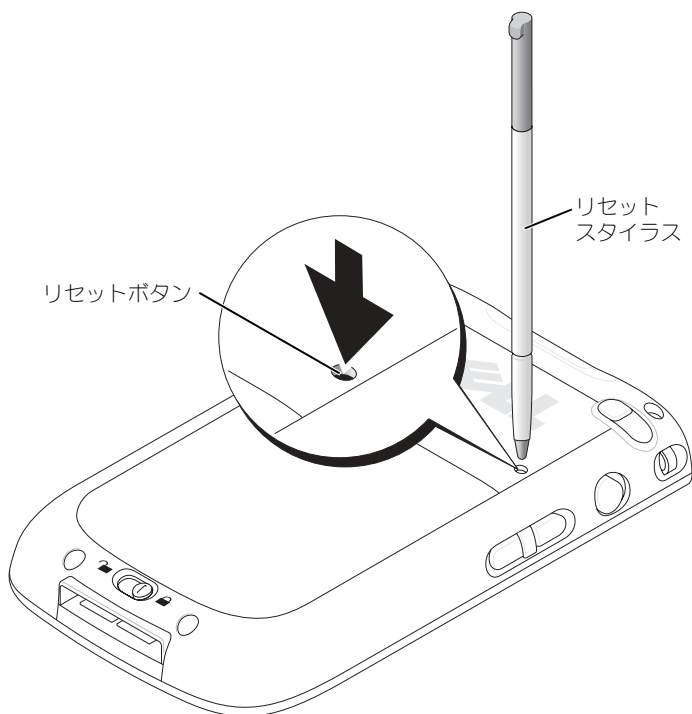
注意：カードを無理に押し込まないでください。抵抗を感じる場合は、カードを取り出し、挿入方向を確認して、再度取り付けます。

カードの使い方に関しては、カードに付属のマニュアルを参照してください。

リセットの実行

ソフトリセット

ソフトリセットを実行すると、メモリにあるデータは保存されますが、それ以外の保存されていないデータは消去されます。ディスプレイをタップしたり、ボタンを押してもデバイスが応答しない場合、ソフトリセットを実行します。

ソフトリセットを実行するには、リセットスタイラスを使用してリセットボタンを押します。

ハードリセット

注意 : ハードリセットを実行すると、お使いのデバイスメモリに保存したすべてのデータおよびインストールしたプログラムが失われます。

ハードリセットは、以下の場合に実行します。

- お使いのデバイスメモリに保存されたデータをすべて削除する場合
- パスワードを忘れて、現在設定されているパスワードを消去する場合
- デバイスの動作に重大な不具合があり、ソフトリセットを既に試している場合

注意 : ハードリセットを実行する前に、データをバックアップするよう強くお勧めします。詳細に関しては、コンピュータで ActiveSync ヘルプを参照してください。

ハードリセットを実行するには、次の手順を実行します。

1 電源ボタンを押し続けます。

2 リセットスタイラスを使用して、リセットボタンを約 2 秒ホールドします。
3 画面に表示される指示に従ってください。

2

Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition の使い方

デバイスボタンとリセットスタイラス

デバイスには、動作やスクロール機能を制御するハードウェアボタンと、項目を選択したりデータを入力するのに使うスタイラスがあります。

デバイスでは、マウスの代わりにスタイラスを使います。

- タップ — 項目を呼び出したり、オプションを選ぶにはスタイラスで画面を 1 回軽くたたきます。
- ドラッグ — スタイラスをホールドしたまま、画面上でドラッグしてテキストや画像を選択します。一覧で複数の項目を選択するときも、ドラッグします。
- タップ＆ホールド — スタイラスを項目の上で軽くたたいてホールドし、その項目で利用可能なオプションの一覧を表示します。表示されたポップアップメニュー内で、実行するオプションをタップします。

詳細に関しては、37 ページの「情報の入力」を参照してください。

Today 画面

その日に初めて（または、デバイスが非アクティブになってから 4 時間後）デバイスの電源を入れると、**Today** 画面が表示されます。**スタート** ボタンをタップし、**Today** をタップして、**Today** 画面を表示することもできます。**Today** 画面には、日付、オーナー情報、今日のスケジュール、および重要なタスクが表示されます。**Today** 画面をカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。
2. **個人用** タブをタップして、**Today** をタップします。

   Today 画面に表示される壁紙を変更するには、**デザイン** タブを使います。

   Today 画面に表示される項目を変更するには **アイテム** タブを使います。

ステータスアイコン

メモ : 通知アイコンのうち表示されていないものがある場合、 の通知アイコンが表示されます。この通知アイコンをタップするとすべての通知が表示されます。

アイコン	説明
	サウンドをオンまたはオフにします。
	バックアップバッテリーの充電レベルが低くなっています。
	メインバッテリーの充電中です。
	メインバッテリーの充電レベルが低くなっています。
	メインバッテリーの残量が非常に少なくなっています。
	メインバッテリーは完全に充電されています。
	接続がアクティブです。接続を設定するには、アイコンをタップします。
	接続が検出されません。
	ワイヤレスネットワークが検出されました。
	同期化が開始しました、またはまもなく終了します。
	同期化中です。
	新着インスタントメッセージがあります。
	新着 E- メールメッセージがあります。

プログラム

スタート メニューからプログラムを選んで、別のプログラムに切り替えることができます。**スタート** メニューの一覧に表示されていないプログラムにアクセスするには、**スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、プログラム名をタップします。

 メモ：いくつかのプログラムには、チェックボックスやドロップダウンメニュー用の省略名があります。正式名を表示するには、省略名の上でスタイラスをタップ＆ホールドします。コマンドが実行されないよう、名前の外にスタイラスをドラッグしてください。

プログラムボタン

プログラムボタンを押して、いくつかのプログラムに切り替えることもできます。デバイスの正面には、4 つのプログラムボタンがあります。切り替えるプログラムは、ボタン上にアイコンで示されています。デフォルトで、ボタンは、ホーム、受信、連絡先、および予定表を起動します。

切り替えバー

切り替えバーを使って、プログラムを切り替えたり、閉じることもできます。切り替えバーを起動するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **システム** タブをタップして、**切り替えバー** をタップします。
切り替えバーアイコン がナビゲーションバーに表示されます。

実行中のすべてのプログラムを表示するには、 をタップします。**切り替えバー** メニューで、以下を実行することができます。

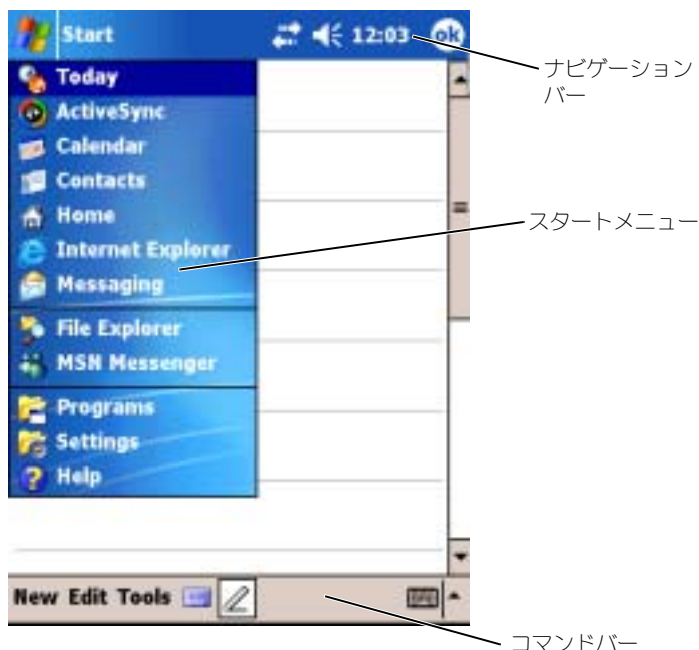
- **輝度設定** または **電源設定** をタップして、輝度の設定および電源設定を調整します。
- プログラム名をタップして、別のプログラムに切り替えます。
- **現在のプログラムを終了** をタップして、現在のプログラムを終了します。
- **すべてのプログラムを終了** をタップして、実行中のプログラムをすべて終了します。
- **切り替えバーを終了** をタップして、メニューを閉じます。

以下の表に、お使いのデバイスにあるプログラムの一部を示します。デバイスにインストールできる追加プログラムに関しては、『Dell™ コンパニオン CD』を参照してください。

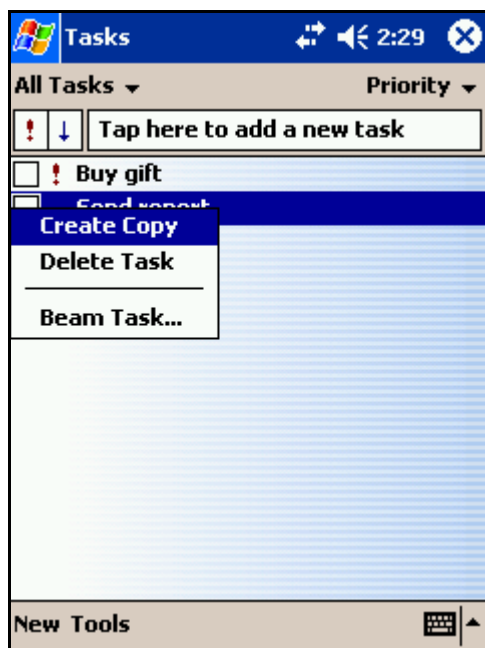
アイコン	プログラム	説明
	ActiveSync	デバイスとコンピュータ間のデータを同期化します。
	予定表	予定を記録したり、会議のリクエストを作成します。
	連絡先	友人や同僚のデータを記録します。
	受信	E- メールメッセージの送受信を行います。
	Pocket Internet Explorer	ウェブサイトや WAP サイトの閲覧、およびインターネットからの新しいプログラムやファイルのダウンロードを行います。
	メモ	手書きまたはタイプしたメモの作成、描画、または録音を行います。
	仕事	仕事を記録します。
	Pocket Excel	新しいワークブックの作成またはコンピュータで作成した Excel ワークブックの表示や編集を行います。
	MSN Messenger	MSN Messenger に保存されている連絡先とインスタントメッセージを送受信します。
	Pocket Word	新しい文書の作成およびコンピュータで作成した Word 文書の表示や編集を行います。

ナビゲーションバーとコマンドバー

ナビゲーションバーは、画面の上部にあり、実行中のプログラムおよび現在の時刻を表示します。また、このバーを使って、別のプログラムに切り替えたり、画面を閉じることができます。

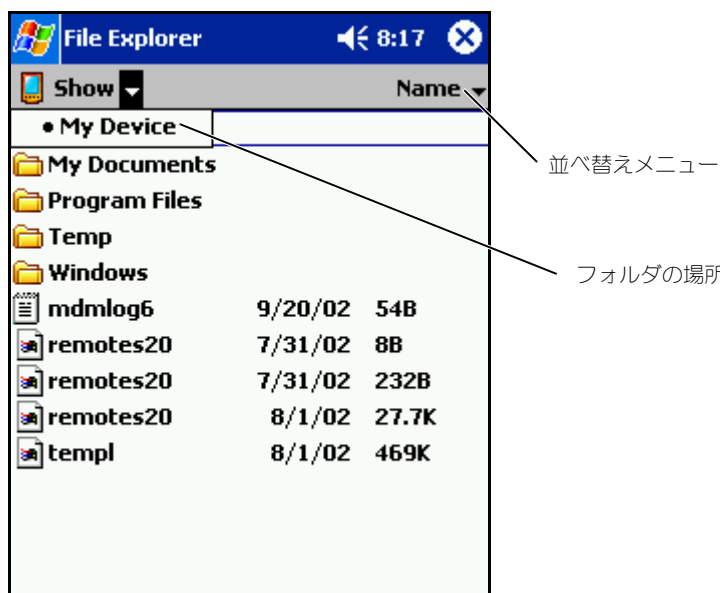
画面の下部のコマンドバーを使って、プログラム内でタスクを実行します。コマンドバーにはメニュー名、アイコン、および入力パネルアイコンがあります。現在のプログラムで新規アイテムを作成するには、**新規** をタップします。アイコン名を表示するには、アイコン上でスタイラスをタップ&ホールドします。コマンドが実行されないよう、アイコンの外にスタイラスをドラッグします。

ポップアップメニュー

ポップアップメニューを使うと、項目の操作を簡単に選ぶことができます。たとえば、連絡先一覧内でポップアップメニューを使って、連絡先の削除やコピー、または連絡先に **E-** メールメッセージを送信できます。ポップアップメニューでの動作は、プログラムによって異なります。ポップアップメニューにアクセスするには、項目名の上でスタイラスをタップ&ホールドし

ます。メニューが表示されたら、スタイラスを離し、実行する操作をタップします。操作を実行せずにメニューを閉じるには、メニューの外でタップします。

情報の検索および整理

デバイスの検索機能で、データを簡単に見つけることができます。

スタート メニューで、**検索** をタップします。検索する項目を入力し、ドロップダウンメニューからデータタイプを選んでから、**開始** をタップして検索を開始します。

ファイルエクスプローラを使って、デバイス上のファイルを検索したり、ファイルをフォルダに整理することもできます。**スタート** メニューで **プログラム** をタップして、**ファイルエクスプローラ** をタップします。

データのバックアップ

データの損失を防ぐため、またはデータの損失を最小限にするため、デバイス上のデータは定期的にバックアップしてください。コンピュータ上のファイルとデバイス上のファイルを同期するには、ActiveSync を使います。Windows エクスプローラを使って、デバイスとコンピュータ間でファイルをドラッグ＆ドロップすることもできます。詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync Help を参照してください。

3

情報の入力

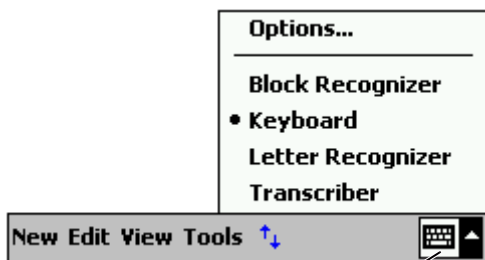
データ入力には、以下の方法があります。

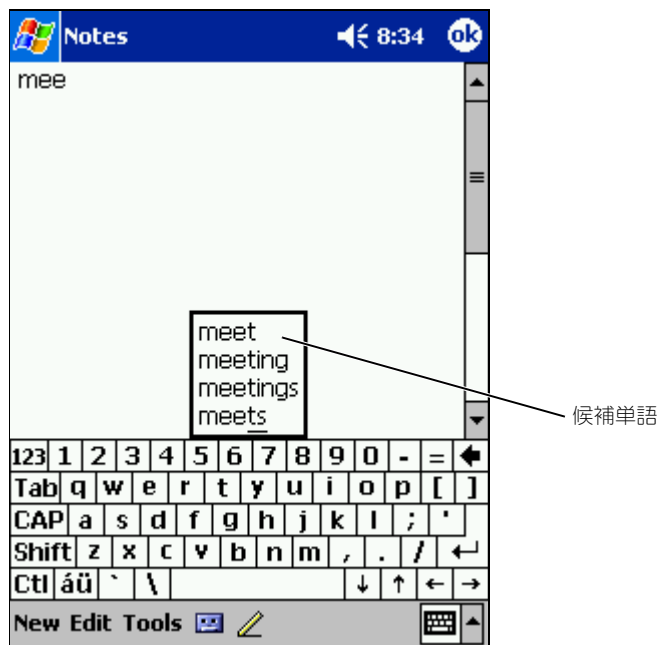
- ソフトキーボードまたは他の入力方法を使って、タイプした文字を入力パネルに入力します。
- スタイラスを使って、画面に直接文字を書いて入力します。
- スタイラスを使って、画面に直接絵を描いて入力します。
- デバイスのマイクに発話して、メッセージを録音します。

Microsoft® ActiveSync® を使用して、情報を同期化したり、お使いのコンピュータからデバイスに情報をコピーしたりします。ActiveSync の詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

メモ : この項にある機能の中には、言語によってサポートされていない場合があります。

入力パネルによるテキスト入力

入力パネルを使って、デバイス上のどのプログラムでも情報の入力ができます。ソフトキーでタイプするか、Letter Recognizer、Block Recognizer、または Transcriber を使って文字を入力します。入力した文字は、タイプされた文字として画面に表示されます。

入力パネルの表示 / 非表示を切り替えるには、入力パネルアイコンをタップします。入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、入力方法を変更します。

入力パネルを使う際、デバイスはタイプ中または入力中の単語を予測して、入力パネルの上に表示します。表示された単語をタップすると、単語が挿入位置に挿入されます。デバイスは、使用するほど学習するので、予測する単語が増えます。

表示する単語数を変更するなど、候補単語オプションを変更するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。
2 **個人用** タブをタップし、**入力** をタップして、**入力方法** タブをタップします。
3 希望の設定を選んで、**OK** をタップします。

ソフトキーボードによる入力

1 入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、**キーボード** をタップします。
2 スタイラスで、ソフトキーボード上のキーをタップします。

Letter Recognizer

Letter Recognizer を使って、紙に文字を書くようにスタイラスで画面に文字を手書き入力できます。

メモ：Letter Recognizer は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語のオペレーティングシステムに付属しています。Letter Recognizer は、他のバージョンには対応していません。

1. 入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、**Letter Recognizer（文字入力）**をタップします。
2. スタイラスを使って、画面下部に表示されたラインの間に文字を書きます。

   文字は画面でタイプされた文字に変換されます。Letter Recognizer の特定の使い方に関しては、手書き入力領域の横にある疑問符（?）をタップします。

メモ：デバイスが認識できる字画を参照するには、**Demo（デモ）**をタップします。

Block Recognizer

Block Recognizer を使って、他のハンドヘルドデバイスと同様の字画を使うことができます。

メモ：Block Recognizer は、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語のオペレーティングシステムに付属しています。Block Recognizer は、他のバージョンには対応していません。

1. 入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、**Block Recognizer（字画入力）**をタップします。
2. スタイラスを使って、画面下部に表示されたボックスに適切な字画で書きます。

   文字は画面でタイプされた文字に変換されます。Block Recognizer の特定の使い方に関しては、手書き入力領域の横にある疑問符（?）をタップします。

メモ：デバイスが認識できる字画を参照するには、**Demo（デモ）**をタップします。

Transcriber

Transcriber を使って、紙に書くのと同様に、スタイラスで画面のどの場所にも文字を書くことができます。Letter Recognizer（文字入力）や Block Recognizer（字画入力）と異なり、文章を書いて少し待つと、Transcriber が手書きで入力された文字をタイプした文字に変換します。

メモ：Trnascriber は、英語、フランス語、およびドイツ語のオペレーティングシステムに付属しています。Trnascriber は、他のバージョンには対応していません。

1 入力パネルアイコンの横にある矢印をタップして、**Transcriber（文章入力）**をタップします。
2 画面のどこにでもスタイラスを使って文字を書くことができます。

入力を中断すると、Transcriber が手書きで入力された文字をタイプした文字に変換します。Transcriber の特定の使い方に関しては、画面の右下にある疑問符（**?**）をタップします。

タイプされた文字の修正

タイプされた文字を修正、またはフォーマットするには、まず文字を選びます。

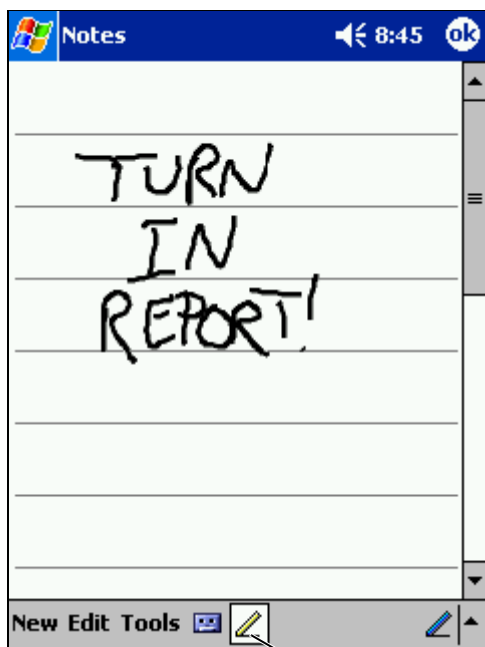
1 選択する文字をスタイラスでドラッグします。
2 選択した文字でタップ＆ホールドします。
3 ポップアップメニューの適切な編集コマンドをタップします。

画面下部の **編集** をタップして、編集コマンドを選ぶこともできます。

画面への書き込み

メモプログラムやプログラムの中の **メモ** タブなど、手書きで文字が入力できるプログラムでは、スタイラスで画面に文字を直接手書きで入力できます。手書きで入力したものを後で編集したり、フォーマットしたり、あるいは情報をテキストに変換できます。

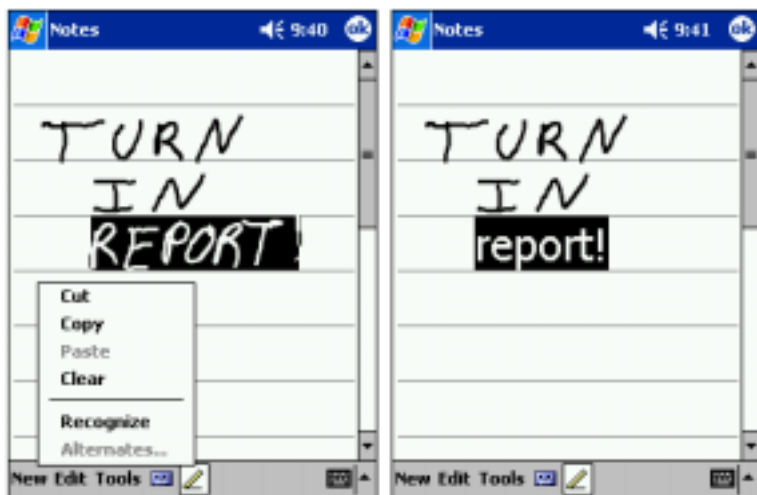
メモ : 手書き入力が可能なプログラムでも、ペンアイコンがないものもあります。手書き入力モードへの切り替え方法に関しては、プログラムに付属のマニュアルを参照してください。

画面に手書きで入力するには、ペンアイコンをタップして手書き入力モードに切り替えます。この操作で、書きやすいように画面にラインが表示されます。

ペンアイコン

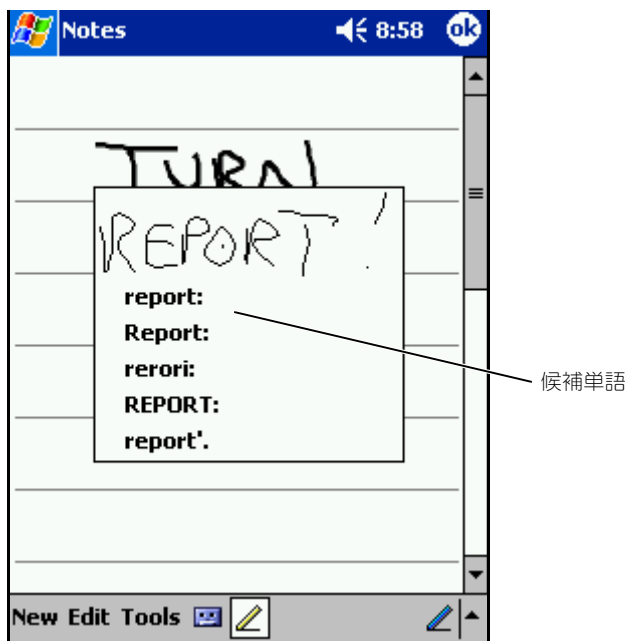
手書き文字の編集

手書き入力文字を編集、またはフォーマットするには、まず文字を選びます。

1. ペンアイコンをタップして、非選択にします。
2. 選択する文字をスタイラスでドラッグします。
3. 選択した文字でタップ&ホールドします。
4. ポップアップメニューの適切な編集コマンドをタップします。
   画面下部の **編集** をタップして、編集コマンドを選ぶこともできます。
5. ペンアイコンをタップして、手書き入力モードに戻ります。

手書き入力文字を活字体に変換するには、**ツール** をタップして、**Recognize（認識）**をタップします。

特定の単語のみを変換する場合、**Recognize** をタップする前に単語を選びます（または、選択した単語をタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **Recognize** をタップします）。単語が認識されない場合、活字体に変換されません。

変換が間違っている場合、候補一覧から別の単語を選ぶか、元の手書き入力文字に戻ることができます。

1. 間違って変換された文字をタップ&ホールドします。
2. ポップアップメニューで、**Alternates（候補単語）**をタップします。
   候補単語一覧のあるメニューが表示されます。
3. 正しい単語をタップするか、メニュー上部にある手書き入力文字をタップすると、元の手書き入力文字に戻ります。

認識率を高めるには、以下を実行します。

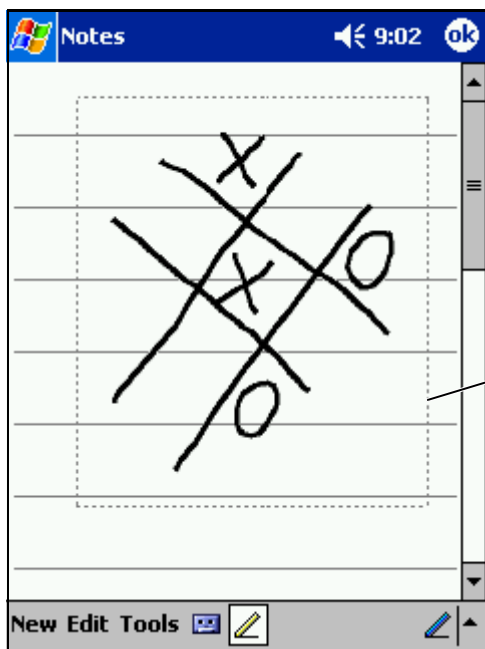
- 文字をきれいに書きます。
- ライン上に書きます。線の下に延びる文字は、線の下まで書きます。「t」の横棒、およびアポストロフィーは、上のラインに書かれている単語と混乱されないよう、上のラインより下に書きます。ピリオドとカンマはラインより上に書きます。
- 認識率を上げるため、**ツール** メニューを使ってズーム倍率を 300 % に変更してみてください。
- 単語の始まりと終わりがわかるよう、1 つの単語内の文字は近づけ、単語と単語の間にスペースを入れます。
- ハイフンで結ばれた単語、アクセント記号など特殊な文字を使う外来語、句読点の一部は変換されません。
- 一度認識された単語に、手書き入力で文字を追加することはできません。単語を削除してから新しい単語を入力します。

画面での描画入力

画面上で文字を手書きで入力するのと同様に、画面上に絵を描くことができます。ただし、絵を選択したり修正する方法は、手書き入力文字の選択方法や修正方法とは異なります。たとえば、絵を選択して大きさを変えることはできますが、手書き入力文字ではできません。

絵の作成

メモ：絵を拡大または縮小して表示するには、**ツール** をタップしてズーム倍率をタップします。

まず 3 本の罫線に線を入れます。描画ボックスが表示されます。次に描かれた線や、描画ボックス内の線は絵の一部になります。罫線に線を入れない場合、絵は手書き入力文字として扱われます。

絵の編集

絵を編集、またはフォーマットするには、まず絵を選びます。絵を編集するには、次の手順を実行します。

1 選択ハンドルが表示されるまで、絵の上でスタイラスをタップ＆ホールドします。

  複数の絵を選択するには、ペンアイコンの選択を解除してドラッグします。

2 選択した絵をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの編集コマンドをタップします。

3 選択した絵をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューで編集コマンドをタップすると、選択した絵の切り取り、コピー、および貼り付けができます。

  画面下部の **編集** をタップして、編集コマンドを選ぶこともできます。

絵の大きさを変更するには、ペンアイコンが選択されていないことを確認して、選択ハンドルをドラッグします。

メッセージの録音

画面に手書きで文字入力ができたり、絵が描けるプログラムでは、メッセージを録音して考えをすばやくまとめたり、メモや電話番号を記録することもできます。予定表、仕事、および連絡先で、**メモ** タブに録音を加えることができます。メモプログラムでは、音声のみを録音したり、手書きメモに録音を加えることができます。メモに録音を加える場合は、まずメモを開きます。受信プログラムでは、E- メールメッセージに録音を付加できます。

メッセージを録音するには、次の手順を実行します。

1 マイクを口または音源に近づけて持ちます。

2 ビープ音が聞こえるまで、デバイスの側面にある録音ボタンを押します。

3 録音ボタンを押し続けて、録音します。

4 録音を停止するには、録音ボタンを離します。

  デバイスからビープ音が 2 回聞こえます。新規録音がメモ一覧に、または組み込みアイコンとして表示されます。

メモ : Recording（録音）ツールバーにある Record（録音）アイコンをタップして録音することもできます。

録音を再生するには、一覧で録音名をタップするか、メモ内のスピーカーアイコンをタップします。

マイテキストの使い方

受信または MSN Messenger を使用すると、My Text を使用して、定型文、または頻繁に使用する文を簡単に挿入できます。定型文を挿入するには、**マイテキスト** をタップして定型文をタップします。

メモ：定型文を挿入した後で、マイテキストメッセージに文字を追加できます。

マイテキストメッセージを編集するには、次の手順を実行します。

1 受信または MSN Messenger で **ツール** をタップします。
2 **マイテキストメッセージの編集** をタップします。
3 変更を加えて、**OK** をタップします。

4

設定の調整

デバイスの設定は、お好みに合わせて調整することができます。利用可能なオプションを表示するには、**スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

メモ：お使いのデバイスの機能によっては、別のタブが表示されたり、タブに別の項目が表示されることがあります。

設定の調整方法に関しては、お使いのデバイスの Pocket PC ヘルプを参照してください（**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします）。

個人用タブ

- **ボタン** — ハードウェアボタンを押すと起動するプログラムを設定します。
- **入力** — 入力方法、単語予測、その他のオプション設定を調整します。
- **メニュー** — **スタート** メニューに項目を追加したり削除します。
- **オーナー情報** — お客様の連絡先等を入力します。
- **パスワード** — お使いのデバイスに保存されているデータを保護するため、パスワードを設定します。
- **音と通知** — 音量の調節および通知を設定します。詳細に関しては、63 ページの「通知」を参照してください。
- **Today** — 画面に表示される情報の内容と外観をカスタマイズします。

システムタブ

- **バージョン情報** — Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition およびお使いのデバイスについての情報を表示します。
- **輝度** — 輝度を調整して、節電します。
- **証明書** — お使いのデバイスに保存されている認証を表示したり、削除します。証明書を使うと、ユーザーと他のコンピュータを識別して、データへの不正なアクセスを防ぐことができます。
- **時計** — 時刻の変更またはアラームを設定します。
- **メモリ** — メモリをデータおよびプログラムのストレージに割り振ります。メモリの空き領域と使用済みの領域、ストレージカードメモリ、および実行中のプログラムを表示します。
- **マイク** — マイクの増幅率を調節します。

- **電源** — バッテリーまたは充電状況を確認します。電源が切れる前にデバイスがアイドル状態になる時間を **詳細設定** タブで設定します。
- **地域** — 通貨や日時などの地域設定の表示と設定の変更を行います。
- **プログラムの削除** — デバイスからプログラムを削除します。詳細に関しては、65 ページの「プログラムの追加と削除」を参照してください。
- **画面** — デバイスがタップに正確に応答しない場合に画面を調節したり、使用する画面方向を選択します。
- **切り替えバー** — 切り替えバープログラム起動ユーティリティの設定を調整します。
- **システム情報** — デバイスの技術情報を表示します。

接続タブ

- **ビーム** — 他のデバイスからの赤外線通信を受信します。
- **Bluetooth** — Bluetooth® ワイヤレステクノロジを採用した無線通信のオンとオフを切り替え、結合されたデバイスの作成と編集を行います。デフォルトでは無線通信はオフになっています。
- **接続** — モデムまたはサーバー接続を追加したり、設定します。
- **Dell WLAN Utility** — Wi-Fi のデバイスのみで使用できます。
- **ネットワークアダプタ** — ネットワークアダプタを設定します。

5

Microsoft® ActiveSync® プログラムの使い方

ActiveSync について

ActiveSync を使うと、コンピュータ上のデータとデバイス上のデータを同期化できます。同期化では、デバイス上のデータとコンピュータ上のデータを比較して、両方が最新のデータになるようアップデートします。次はその例です。

- お使いのデバイス上の Microsoft Pocket Outlook のデータを、コンピュータ上の Microsoft Outlook のデータと同期化して、最新に保ちます。
- お使いのデバイスとコンピュータ間で、Microsoft Word および Microsoft Excel ファイルを同期化します。ファイルは、自動的に正しい形式に変換されます。

メモ : デフォルトで、ActiveSync はすべてのタイプのデータを自動的には同期化しません。ActiveSync のオプションを変更して、特定のタイプのデータを同期化することができます。

ActiveSync を使って、以下のことを実行することもできます。

- デバイス上のデータのバックアップと復元。
- お使いのデバイスとコンピュータ間のファイルのコピー（同期化ではなく）。
- 同期化モードを選択して、同期化をいつ実行するかの設定。たとえば、継続的に同期化するか、同期化コマンドを選んだ時のみ同期化するかを選ぶことができます。
- 同期化する情報のタイプの選択と、同期化する情報量の制御。たとえば、過去の予定を何週間分同期化するかを選ぶことができます。

データを同期化するには、Microsoft Windows® および ActiveSync の Pocket PC バージョンの両方が必要です。『Dell™ コンパニオン CD』を使って、お使いのコンピュータに ActiveSync の Windows バージョンをインストールする必要があります。Pocket PC バージョンは、お使いのデバイスにインストールされています。

メモ : デバイスをコンピュータに初めて接続するときは、その前に『Dell™ コンパニオン CD』を使ってコンピュータに ActiveSync を確実にインストールします。

ActiveSync のインストールと使い方

ActiveSync をインストールするには、次の手順を実行します。

1 『Dell コンパニオン CD』を挿入します。
2 **はじめに** をクリックして、メインメニューにアクセスします。
3 **ここから開始** をクリックします。
4 **ActiveSync をインストールする** をクリックして、画面の指示に従います。

インストールの完了後、ActiveSync Setup Wizard を使って、デバイスとコンピュータの接続、デバイスとコンピュータ間でデータを同期化できるようなパートナーシップの設定、および同期化設定のカスタマイズを実行できます。ウィザードの完了後、最初の同期化処理が自動的に開始します。

メモ : 同期化プロセスを開始するには、デバイスの電源が入っている必要があります。

最初の同期化中に、コンピュータの Outlook に保存されている情報がデバイスの予定表、連絡先、および仕事にコピーされます。

ActiveSync のセットアップが終わり、最初の同期化処理が完了したら、デバイスから同期化を開始することができます。デバイスの ActiveSync に切り替えるには、**スタート** ボタンをタップして、**ActiveSync** をタップします。ワイヤレス LAN カードをお使いの場合、デバイスからリモートで同期化できます。

デバイスの ActiveSync の使い方を参照するには、デバイスの ActiveSync を開き、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

コンピュータの ActiveSync の使い方を参照するには、コンピュータの ActiveSync を開いて、**ヘルプ** → **Microsoft ActiveSync ヘルプ** をクリックします。

6

スケジュールおよび通信

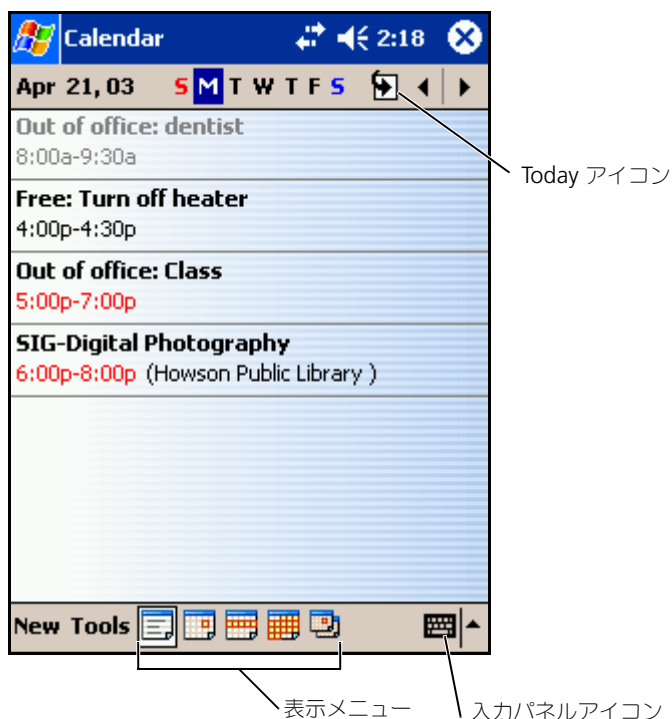
Microsoft® Pocket Outlook について

Pocket Outlook には、予定表、連絡先、仕事、受信、メモが含まれています。これらのプログラムは個別に、または一緒に使用することができます。たとえば、連絡先に保存されている E- メールアドレスは、受信内の E- メールメッセージのアドレスに利用できます。

Microsoft ActiveSync® を使うと、コンピュータの Microsoft Outlook または Microsoft Exchange の情報をデバイスと同期化できます。この情報は、Exchange サーバーと直接同期化することもできます。同期化を実行するたびに、ActiveSync はデバイスとコンピュータまたはサーバー上で行った変更を比較し、両方のコンピュータを最新のデータにアップデートします。ActiveSync の使い方に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

スタート メニューから、以下のプログラムに切り替えることができます。

予定表

予定表を使って、会議や他のイベントなどの予定を作成します。予定表、日単位、週単位、月単位、年単位などの表示画面のうちの 1 つで予定を確認することができ、表示メニューを使って表示画面を簡単に切り替えることができます。Today アイコンをタップすると、今日の日付が表示されます。

メモ：週の最初の曜日を変更するなど、予定表をカスタマイズするには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

予定を作成するには、次の手順を実行します。

1 日単位または週単位表示で、予定を作成する日時をタップします。

2 **新規** をタップします。

3 フィールドをタップして選択し、入力パネルを使って説明と場所を入力します。

4 必要に応じて、日時をタップして変更します。

5 利用可能なすべてのフィールドを表示するには、入力パネルアイコンをタップして、入力パネルを非表示にします。必要に応じて、残りの情報を入力します。

6 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。

文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細に関しては、57 ページの「メモ」を参照してください。

7 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

予定の通知を受け取るには、予定の設定で **通知する** を選びます。音と通知アイコンで通知を設定します。 詳細に関しては、63 ページの「通知」を参照してください。

概要画面の使い方

予定表で予定をタップすると、概要画面が表示されます。予定を変更するには、**編集** をタップします。

会議のリクエストの作成

予定表を使って、Outlook または Pocket Outlook のユーザーとの会議を設定することができます。会議リクエストは、受信を同期化したり、メールサーバーに接続すると自動的に作成されます。会議リクエストの送信方法を設定するには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。ActiveSync で E- メールメッセージを送受信する場合、**ActiveSync** を選びます。

会議をスケジュールするには、次の手順を実行します。

1 予定を作成します。

2 **予定** タブで、入力パネルをタップして非表示にしてから、**出席者** をタップします。

出席者 フィールドに、連絡先に保存されている E- メールアドレスが一覧表示されます。

3 会議の出席者を選びます。

会議通知が自動的に作成され、**送信トレイ** フォルダに保存されます。

会議リクエストの送受信に関しては、**スタート** ボタンをタップし、**ヘルプ** をタップして、**予定表** または **受信** をタップします。

連絡先

連絡先を使って、友人や同僚の一覧を管理します。赤外線ポートを使って、他のデバイスのユーザーと連絡先情報を簡単に共有できます。

メモ：一覧の表示方法を変えるには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

連絡先を作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**連絡先** をタップします。

2 **新規** をタップします。

3 入力パネルを使って、名前および他の連絡先情報を入力します。下にスクロールして、利用可能なフィールドをすべて表示します。

4 連絡先をカテゴリに割り当てるには、**分類項目** をタップして、一覧からカテゴリを選びます。

連絡先一覧で、カテゴリ別に連絡先を表示できます。

5 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細に関しては、57 ページの「メモ」を参照してください。

6 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

連絡先の検索

以下の方法のうちの 1 つを利用して、連絡先を検索することができます。

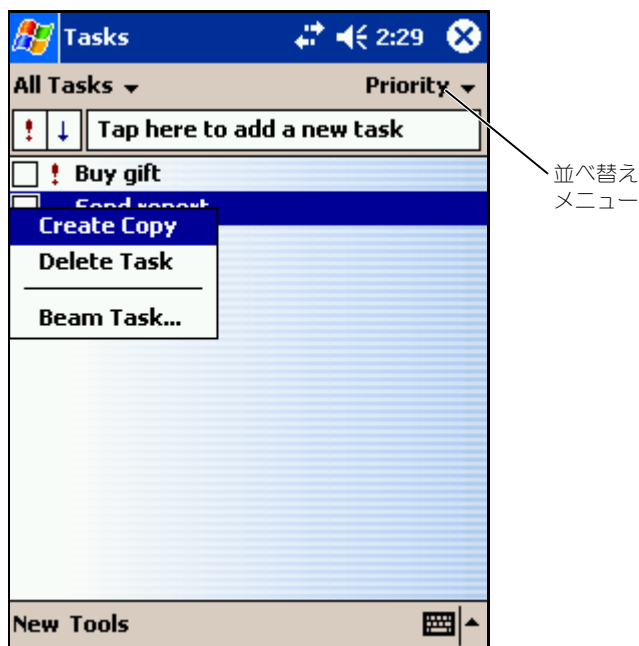
- 連絡先で、ナビゲーションバーのフィールドに連絡先名を入力します。すべての連絡先を表示するには、ボックスからテキストを消去するか、ボックスの右側にある矢印をタップします。
- 連絡先で、カテゴリー覧（デフォルトで、**すべての連絡先** と名前が付いています）をタップして、カテゴリを選びます。すべての連絡先を再度表示するには、**すべての連絡先** をタップします。カテゴリに割り当てられていない連絡先を表示するには、**分類項目なし** を選びます。
- 連絡先に登録されている人の勤務先を表示するには、連絡先一覧で **表示** をタップして、**会社順** をタップします。その会社に勤めている連絡先の数が会社名の右側に表示されます。
- **スタート** ボタンをタップし、**検索** をタップしてから、連絡先名を入力します。**種類** ドロップダウンメニューで、**連絡先** をタップして、**開始** をタップします。

概要画面の使い方

連絡先一覧の連絡先をタップすると、概要画面が表示されます。連絡先情報を変更するには、**編集** をタップします。

仕事

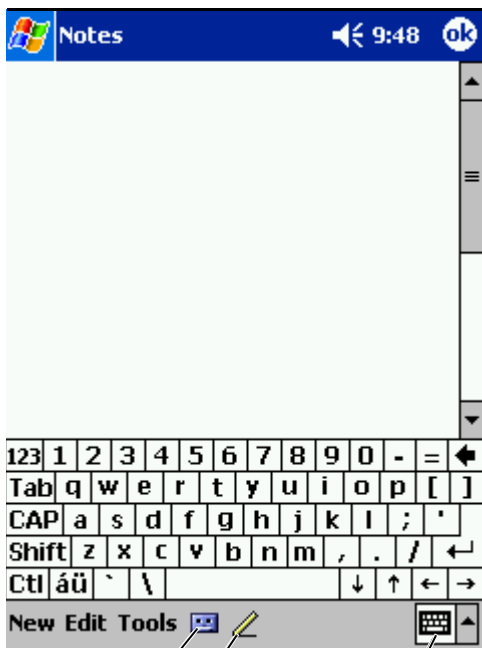
メモ : 一覧の表示方法を変えるには、**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。

仕事を使って、仕事の一覧を維持できます。

仕事を作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**仕事** をタップします。
2 **新規** をタップします。
3 入力パネルを使って説明を入力します。
4 必要に応じて、フィールドをタップして、開始日と締切日やその他の情報を入力します。すべての利用可能なフィールドを表示するには、入力パネルアイコンをタップして非表示にします。
5 仕事をカテゴリに割り当てるには、**分類項目** をタップして一覧からカテゴリを選びます。仕事一覧で、カテゴリ別に仕事を表示することができます。
6 メモを追加するには、**メモ** タブをタップします。文字や絵を入力したり、録音することができます。詳細に関しては、57 ページの「メモ」を参照してください。
7 情報の入力が終了したら、**OK** をタップして予定表に戻ります。

メモ：簡単に仕事の件名のみを作成するには、**ツール** をタップして、**入力バー** をタップします。**ここをタップして新しい仕事を追加** をタップして、仕事情報を入力します。

メモ

メモを利用して、考えをすばやくまとめたり、メモ、絵、および電話番号を記録することができます。手書きのメモを作成したり、録音することができます。メモに録音を加えることもできます。録音する際にメモが開いている場合、録音はアイコンとしてメモに加えられます。メモが開いていない場合、独立した録音として保存されます。

メモを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** メニューで、**プログラム** をタップして、**メモ** をタップします。

2 **新規** をタップします。

3 手書き入力、描画、タイプ、録音などでメモを作成します。入力パネルの使い方、画面での手書き入力や描画、および録音に関しては、37 ページの「情報の入力」を参照してください。

受信

受信を使って、E- メールメッセージを送受信します。

- コンピュータの Exchange または Outlook を使って、E- メールメッセージを同期化します。
- ISP またはネットワーク経由でメールサーバーと直接接続して、E- メールメッセージを送受信します。

E- メールメッセージの同期化

ActiveSync で受信の同期化を有効にした場合、他のデータと一緒に E- メールメッセージを同期化できます。受信同期化を有効にする方法に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

メモ : リモートでのコンピュータとの E- メールメッセージの同期化も可能です。詳細に関しては、83 ページの「接続」を参照してください。

同期化の処理中は、以下のことが実行されます。

- コンピュータの Exchange または Outlook の E- メールフォルダから、デバイスの受信にある **ActiveSync** フォルダにメッセージがコピーされます。デフォルトで、以下のものが受信されます。
  - 3 日前からのメッセージ
  - 各メッセージの最初の 100 行
  - 100 KB 未満の添付ファイル
- デバイスの **送信トレイ** フォルダ内の E- メールメッセージは、コンピュータの Exchange または Outlook に転送されてから、これらのプログラムから送信されます。
- コンピュータのサブフォルダ内の E- メールメッセージを転送するには、ActiveSync 内でメッセージを選択する必要があります。

メールサーバーとの直接接続

コンピュータとの E- メールメッセージの同期化に加え、デバイスに接続されているモデムやネットワークカードを使って、メールサーバーに接続して E- メールメッセージを送受信できます。ネットワークまたは ISP へのリモート接続およびメールサーバーへの接続をセットアップする必要があります。詳細に関しては、83 ページの「接続」を参照してください。

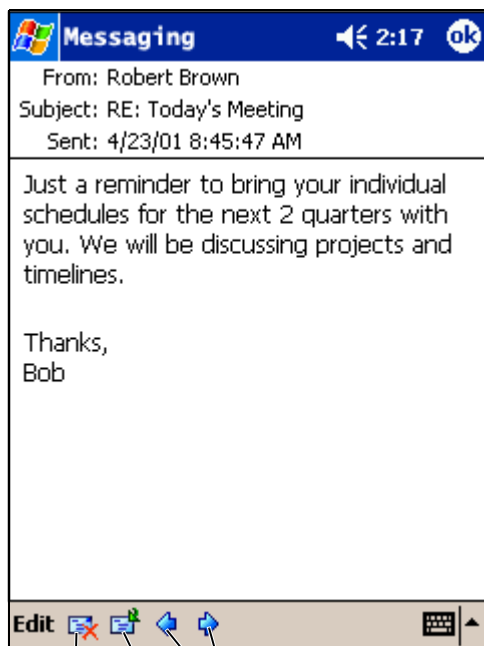
メールサーバーに接続すると、以下のことが実行されます。

- 新着メッセージは、デバイスの **受信トレイ** フォルダにダウンロードされます。
- デバイスの **送信トレイ** フォルダ内のメッセージは送信されます。
- メールサーバーから削除されたメッセージは、デバイスの **受信トレイ** フォルダから削除されます。

メールサーバーから直接受信したメッセージは、コンピュータではなくメールサーバーにリンクされます。ActiveSync の設定によっては、デバイスからメッセージを削除すると、次回メールサーバーに接続する際にメールサーバーからも削除されます。オンラインで作業をする際、メールサーバーに接続した状態で E- メールメッセージを読んだり返信します。**送信** をタップするとただちにメッセージが送信されますので、デバイスの容量が節約されます。新着メッセージのヘッダーやメッセージの一部をダウンロードした後、メールサーバーの接続を解除してから、どのメッセージを完全にダウンロードするか決めることができます。次回接続する際に、受信は、マークのついたメッセージをダウンロードし、作成したメッセージを送信します。

メッセージ一覧の使い方

受信したメッセージがメッセージ一覧に表示されます。デフォルトで、受信したメッセージが新しいものから順に一覧に表示されます。

メッセージを受信したら、タップして開きます。未読メッセージは、太字で表示されます。

メールサーバーに接続するか、コンピュータとの同期化を行うと、デフォルトで以下のものを受信します。

- 5 日前からのメッセージ
- 各新着メッセージの最初の 100 行
- 100 KB 未満の添付ファイル

元のメッセージは、メールサーバーやコンピュータに残ります。次回の同期化中またはメールサーバーとの接続中に、メッセージ全体を受信するメッセージにマークを付けます。メッセージ一覧で、受信するメッセージをタップ&ホールドします。ポップアップメニューで、**ダウンロードするアイテムとしてマーク** をタップします。受信トレイメッセージ一覧のアイコンがメッセージステータスを示します。

サービスをセットアップする際、または同期化のオプションを設定する際に、ダウンロードのオプションを設定します。設定はいつでも変更できます。

- ActiveSync オプションを使用して、受信同期化のオプションを変更します。詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。
- デバイスの受信で、メールサーバーに直接接続するオプションを変更します。**ツール** をタップして、**オプション** をタップします。**アカウント** タブで、変更するサービスをタップします。サービスをタップ&ホールドして **削除** を選択し、サービスを削除します。

メッセージの作成

メッセージを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**受信** をタップします。

2 **新規** をタップします。

3 **宛先** フィールドで、1 つまたは複数のメールの宛先を入力します。宛先はセミコロンで区切ります。または、連絡先一覧で連絡先アイコンをタップして、名前を選びます。

メモ：連絡先で、E- メールフィールドに入力されているすべてのメールアドレスが、Address Book（アドレス帳）に表示されます。

4 メッセージを作成します。メッセージの定型文を入力するには、**マイテキスト** をタップしてメッセージを選びます。

5 メッセージを作成したら、**送信** をタップします。

オフラインで作業している場合、メッセージは **送信トレイ** フォルダに移動され、次回に接続する際に送信されます。

E- メールメッセージおよびフォルダの管理

デフォルトでは、メッセージは、作成した各サービスの 5 つのフォルダ、**受信トレイ**、**削除済みアイテム**、**下書き**、**送信トレイ**、または **送信済みアイテム** のいずれかに表示されます。**削除済みアイテム** フォルダには、デバイスで削除されたメッセージが含まれます。**削除済みアイテム** および **送信済みアイテム** フォルダの動作は、選択したオプションによって異なります。オプションを変更するには、メッセージ一覧の **ツール** をタップして、**オプション** をタップします。**メッセージ** タブでオプションを選びます。

新規フォルダを作成するには、**ツール** をタップして、**フォルダの管理** をタップします。メッセージを別のフォルダに移動するには、メッセージ一覧のメッセージをタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **移動** をタップします。

メールサーバー直接接続時のフォルダの動作

作成したフォルダの動作は、ActiveSync、POP3、または IMAP4 のどれを使用しているかによって異なります。

- ActiveSync をお使いの場合、Outlook の **受信トレイ** フォルダ内の E- メールメッセージは、デバイスと自動的に同期化されます。フォルダを選んで、ActiveSync 用に別のフォルダを同期化することもできます。作成したフォルダおよび移動したメッセージは、サーバー上でミラーされます。たとえば、**受信トレイ** フォルダから **家族** という名前のフォルダにメッセージを移動し、**家族** を同期化するよう設定した場合、サーバーは **家族** フォルダのコピーを作成して、そのフォルダにメッセージをコピーします。これにより、お使いのコンピュータからではなくてもメッセージを読むことができます。
- POP3 をお使いで、作成したフォルダに E- メールメッセージを移動した場合、デバイス上のメッセージとメールサーバー上のメッセージのコピー間のリンクが壊れます。次回接続時に、メールサーバーはデバイスの受信トレイにメッセージがないことを検出して、サーバーから削除し

ます。これにより、メッセージの重複を防ぎます。ただし、作成したフォルダに移動したメッセージには、デバイス以外からはアクセスできなくなります。

- IMAP4 をお使いの場合、作成したフォルダと移動したメッセージは、サーバー上でミラーされます。これにより、デバイスまたはコンピュータからメールサーバーに接続すると、いつでもメッセージを読むことができます。このフォルダの同期化は、サーバーに接続したり、接続中に新規フォルダを作成したり、フォルダの名前の変更またはフォルダを削除すると実行されます。

通知

何か必要なときに通知されるように、デバイスを設定できます。たとえば、予定表に予定を設定したり、仕事に締切日のある仕事を設定したり、時計でアラームを設定した場合、次の方法のうちの 1 つで通知を受け取ります。

- 画面にメッセージボックスが表示されます。
- 音が鳴ります（音は指定できます）。
- デバイスのライトが点滅します。

通知およびデバイスのサウンドを設定するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。
2 **個人用** タブで、**音と通知** をタップします。
    - **音量** タブ — 音量を調節して、サウンドを有効にします。
    - **通知** タブ — 特定のイベントに対して通知を設定します。

7

プログラムの追加と削除

デバイスにプリインストールされているプログラムは、ご購入時に ROM に保存されています。これらのプログラムは削除できず、誤って ROM の内容を消去することはありません。ROM プログラムは、拡張子 ***.xip** の付いたインストールプログラムを使って、アップデートすることができます。ROM または RAM のどちらにもデータを保存することができます。

デバイスのメモリに必要な空き容量がある場合、お使いのデバイス用に作成されたプログラムをインストールすることができます。Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition ウェブサイト、**www.microsoft.com/japan/windowsmobile** に、お使いのデバイス用の様々なソフトウェアがあります。

Microsoft® ActiveSync® を使用したプログラムの追加

お使いのデバイスにソフトウェアをインストールする前に、デバイスに対応するソフトウェアをコンピュータにインストールする必要があります。詳細に関しては、49 ページの「Microsoft® ActiveSync® プログラムの使い方」を参照してください。

1 お使いのデバイスとプロセッサタイプを確認して、インストールするソフトウェアのバージョンを決めます。デバイスとプロセッサタイプを確認するには、次の手順を実行します。

   a **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

   b **システム** タブで、**バージョン情報** をタップします。

   c **バージョン** タブで、プロセッサ情報を確認します。

2 ソフトウェアをコンピュータにダウンロードします（または、ソフトウェアを含む CD あるいはフロッピーをコンピュータに挿入します）。***.xip**、***.exe**、***.zip** 、または **Setup.exe** ファイルのいずれかが 1 つ、または異なるデバイスタイプおよびプロセッサ用の複数のバージョンのファイルが表示されることがあります。お使いのデバイスのプロセッサタイプに対応している Pocket PC 用のプログラムを選択します。

3 インストール方法、readme ファイル、またはプログラムに付属しているマニュアルを読みます。多くのプログラムには、特殊なインストール手順があります。

4 デバイスをコンピュータに接続します。

5 ***.exe** ファイルをダブルクリックします。

ファイルがインストーラファイルの場合、インストールウィザードが起動します。画面の指示に従います。コンピュータにソフトウェアをインストールすると、インストーラがソフトウェアを自動的にデバイスに転送します。

ファイルがインストーラファイルではない場合、プログラムは有効ですが別のタイプのコンピュータ用です、というエラーメッセージが表示されます。このファイルをデバイスに移動する必要があります。readme ファイルまたはマニュアルにおいてインストール手順が見つからない場合、ActiveSync Explorer を使ってデバイスの **Program Files**（プログラムファイル）フォルダにプログラムファイルをコピーします。ActiveSync を使ったファイルのコピーに関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

インストール完了後にプログラムを開くには、**スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、プログラムアイコンをタップします。

インターネットからのプログラムのダウンロード

1 お使いのデバイスとプロセッサタイプを確認して、インストールするソフトウェアのバージョンを決めます。デバイスとプロセッサタイプを確認するには、次の手順を実行します。

a **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

b **システム** タブで、**バージョン情報** をタップします。

c **バージョン** タブで、プロセッサ情報を確認します。

2 Poket Internet Explorer を使って、デバイスにプログラムをダウンロードします。***.xip**、***.exe**、***.zip**、または **Setup.exe** ファイルのいずれかが 1 つ、または異なるデバイスタイプおよびプロセッサ用の複数のバージョンのファイルが表示されることがあります。お使いのデバイスのプロセッサタイプに対応している Pocket PC 用のプログラムを選択します。

3 インストール方法、readme ファイル、またはプログラムに付属しているマニュアルを読みます。多くのプログラムには、特殊なインストール手順があります。

4 ***.xip** または ***.exe** などのファイルをタップします。

インストールウィザードが起動します。画面の指示に従います。

プログラムのスタートメニューへの追加

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。
2 **メニュー** をタップし、**スタートメニュー** タブをタップしてから、プログラムのチェックボックスをタップします。

   プログラムが一覧に表示されない場合、デバイスのファイルエクスプローラを使って、プログラムを **スタートメニュー** フォルダに移動するか、コンピュータの ActiveSync を使って、プログラムのショートカットを作成し、ショートカットを **スタートメニュー** フォルダに挿入します。

デバイスでの File Explorer の使い方

1 **スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、**ファイルエクスプローラ** をタップします。
2 プログラムの場所を確認します。フォルダ一覧（デフォルトで、**My Documents** と名前が付いています）をタップしてから、**マイデバイス** をタップして、デバイス上のすべてのフォルダの一覧を表示します。
3 プログラム名をタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **切り取り** をタップします。
4 Windows® フォルダにある **スタートメニュー** フォルダを開きます。
5 画面の空いた領域をタップ&ホールドして、ポップアップメニューの **貼り付け** をタップします。

プログラムが **スタート** メニューに表示されます。File Explorer の使い方に関しては、35 ページの「情報の検索および整理」を参照してください。

コンピュータでの ActiveSync の使い方

ActiveSync の Explorer を使って、デバイスファイルを参照し、プログラムの場所を確認します。プログラムを右クリックして、**ショートカットの作成** をクリックします。ショートカットを Windows フォルダにある **[スタート] メニュー** フォルダに移動します。ショートカットが **スタート** メニューに表示されます。詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

ソフトウェアのインストール時のエラーメッセージ

ソフトウェアをデバイスにインストールするときに、次のエラーメッセージを受け取る場合があります。

インストールされているプログラムは Microsoft® Windows Mobile™ ソフトウェアの以前のバージョン用にデザインされているため、適切に表示されない場合があります。

エラーを修正するには、以下の操作を実行します。

1 **OK** をタップして、ソフトウェアプログラムのインストールを続行します。
2 プログラムを縦長モードで実行します。68 ページの「デバイスの画面モードの変更」を参照してください。

メモ：ほとんどのデバイスのプログラムは、縦長モードを使用すると、Windows Mobile 2003 Second Edition オペレーティングシステムで機能します。デルでは、Windows Mobile 2003 Second Edition 向けに書かれていないプログラムが適切に機能することは保証できません。

メモ：Dell Axim X50 には Windows Mobile 2003 Second Edition オペレーティングシステムがインストールされています。現在入手できるほとんどのデバイスのソフトウェアパッケージは、Windows Mobile の以前のバージョン用にデザインされています。インストールしようとしているソフトウェアに関してテクニカルサポートが必要な場合は、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。デルは、サードパーティの電子機器やアクセサリに対するサポートを提供していません。

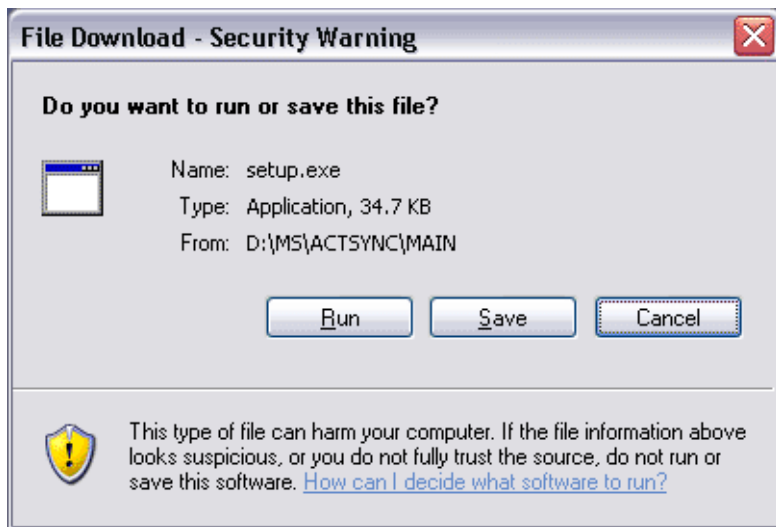
デバイスの画面モードの変更

画面モードを横長から縦長に変更するには、以下の操作を実行します。

1 **スタート** ボタンをタップしてから **設定** をタップします。
2 **設定** ウィンドウで **システム** タブをタップしてから **画面** をタップします。
3 **画面** ウィンドウで **Portrait** をタップして縦長モードを選択します。
4 **OK** をタップしてウィンドウを閉じます。

メモ：画面モードを縦長から横長に変更するには、手順を逆の順序で実行します。

ファイルダウンロードセキュリティ警告

Microsoft® Window® XP Service Pack 2 (SP2) を実行している Dell システムにソフトウェアプログラムをインストールしようとした場合、以下のようなファイルダウンロードセキュリティ警告のメッセージが表示されます。

ソフトウェアプログラムをお使いのシステムにインストールしようとした場合、そのつど安全のために、ファイルダウンロードセキュリティ警告が表示されます。これはインストールしようとするソフトウェアの作成者にかかわらず発生します。

 メモ：この警告は、お使いの Dell システムに問題があることを示しているわけではありません。

プログラムの削除

1 **スタート** ボタンをタップして、**設定** をタップします。

2 **システム** タブをタップして、**プログラムの削除** をタップします。

インストールされているプログラムの一覧に削除するプログラムが表示されない場合、デバイスの File Explorer を使ってプログラムの場所を確認します。

3 プログラムの名前をタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **削除** をタップします。

8

付属プログラムの使い方

デバイスに付属しているプログラムには、Microsoft Pocket Word、Microsoft Pocket Excel、Microsoft Money、Pocket PC 用 Windows Media Player、および Microsoft Reader が含まれます。

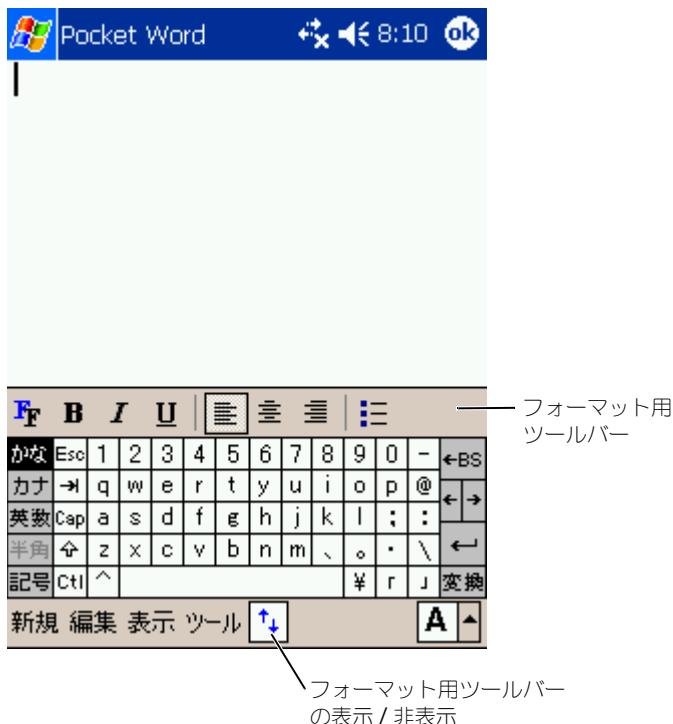
デバイスに付属しているプログラムに切り替えるには、**スタート** ボタンをタップし、**プログラム** をタップして、プログラム名をタップします。

Microsoft® Pocket Word

Pocket Word は、コンピュータの Microsoft Word に対応し、文書を簡単に利用することができます。デバイスで新規文書を作成したり、コンピュータからデバイスに文書をコピーできます。コンピュータとデバイス間で文書を同期化して、コンピュータとデバイスの両方を最新の内容にします。

Pocket Word を使って、手紙、議事録、出張報告書などの文書を作成することができます。新しいファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1 **スタート** ボタン → **プログラム** → **Pocket Word** とタップします。
2 **新規** をタップします。

   新規文書が表示されます。または、**オプション** ダイアログボックスで新規文書にテンプレートを選択した場合、テキストの入ったフォーマット済みのテンプレートが表示されます。

一度に開くことのできる文書は 1 つだけです。2 つ目の文書を開くと、最初の文書を保存するかどうか尋ねられます。Word（**.doc**）、Pocket Word（**.psw**）、Rich Text Format（**.rtf**）および、Plain Text（**.txt**）などの様々な形式のファイルを作成、保存、または編集できます。

Pocket Word には、デバイスに保存されているファイルの一覧が含まれています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ&ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

Poket Word へのデータ入力には、タイピング、手書き入力、描画、録音の 4 つのモードがあります。これらのモードは、**表示** メニューに表示されます。それぞれのモードに独自のツールバーがあり、コマンドバーの **ツールバーの表示 / 非表示** アイコンをタップして、ツールバーの表示 / 非表示を切り替えることができます。

ズーム倍率を変更するには、**表示** をタップし、**ズーム** をタップしてから希望の倍率を選びます。文字の入力には高い倍率を、文書のより広い部分を表示させるには低い倍率を選びます。

コンピュータで作成した Word 文書を開いている場合、**表示** メニューの **ウィンドウ幅に合わせる** を選んで文書全体を見ることができます。

Pocket Excel

Pocket Excel は、コンピュータの Microsoft Excel に対応し、ワークブックを簡単に利用することができます。デバイスで新規ワークブックを作成したり、コンピュータからデバイスにワークブックをコピーできます。コンピュータとデバイス間でワークブックを同期化して、コンピュータとデバイスの両方を最新の内容にします。

Pocket Excel を使って、会計報告書や積算距離記録などのワークブックを作成します。新しいファイルを作成するには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタン → **プログラム** → **Pocket Excel** とタップします。
2. **新規** をタップします。

   新規ワークブックが表示されます。または、**オプション** ダイアログボックスで新規ワークブックにテンプレートを選択した場合、テキストの入ったフォーマット済みのテンプレートが表示されます。

一度に開くことのできるワークブックは 1 つだけです。2 つ目のワークブックを開くと、最初の文書を保存するか尋ねられます。Pocket Excel（**.pxl** ）および Excel（**.xls**）などの様々なフォーマットのワークブックの作成、保存、および編集ができます。

Pocket Excel には、デバイスに保存されているファイルの一覧が含まれています。一覧内のファイルをタップして開きます。ファイルの削除、コピーの作成、またはファイルを送信するには、一覧内のファイルをタップ＆ホールドします。次に、ポップアップメニューから該当する操作を選択します。

Pocket Excel には、数式、関数、並べ替え、フィルタなどの基本的な表計算ツールが提供されています。ツールバーを表示するには、**表示** をタップして、**ツールバー** をタップします。

ワークブックに重要な情報が含まれている場合、パスワードで保護できます。パスワードを設定するには、ワークブックを開き、**編集** をタップして、**パスワード** をタップします。ワークブックを開くたびにパスワードの入力が必要ですので、覚えやすく他人に推測されにくいパスワードを選びます。

Pocket Excel での作業のヒント

以下に、Pocket Excel で大きなワークシートを使って作業する場合のヒントを示します。

- **表示** をタップし、**全画面表示** をタップして、ワークシートのできるだけ広い範囲を表示します。全画面モードを終了するには、**元に戻す** をタップします。
- ウィンドウの構成部分を表示したり非表示にします。**表示** をタップしてから、表示または非表示にする構成部分をタップします。
- ワークシートのウィンドウ枠を固定します。まずウィンドウ枠を固定するセルを選択します。**表示** をタップして、**ウィンドウ幅の固定** をタップします。ワークシートの一番上と一番左のウィンドウ枠を固定すると、シートをスクロールして行と列の名前を表示することもできます。
- ウィンドウを分割して、大きなワークシートの異なる領域を表示します。**表示** をタップして、**分割** をタップします。分割バーを希望の場所にドラッグします。分割を元に戻すには、**表示** をタップして、**分割の解除** をタップします。
- 行と列の表示と非表示を切り替えます。行または列を非表示にするには、非表示にする行や列のセルを選択します。**書式** をタップし、**行** または **列** をタップして、**表示しない** をタップします。非表示の行や列を表示するには、**ツール** をタップし、**ジャンプ** をタップして、非表示の行や列のリファレンスを入力します。次に、**書式** をタップし、**行** または **列** をタップして、**再表示** をタップします。

Pocket Excel の使い方に関しては、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

MSN Messenger

MSN Messenger インスタントメッセージプログラムを使って、以下を実行することができます。

- オンライン中のユーザーの確認
- インスタントメッセージの送受信
- 連絡先グループとのインスタントメッセージ会話

MSN Messenger を利用するには、Microsoft Passport アカウントまたは Microsoft Exchange E- メールアカウントが必要です。MSN Messenger Service を利用するには Passport が必要です。Hotmail または MSN アカウントをお持ちの場合、Passport は既にお持ちです。Microsoft Passport または Microsoft Exchange アカウントを取得して、アカウントをセットアップします。

メモ：www.passport.com で、Microsoft Passport アカウントを登録します。**www.hotmail.com** で、Microsoft Hotmail E- メールアドレスを無料で取得できます。

MSN Messenger に切り替えるには、**スタート** ボタン → **プログラム** → **MSN Messenger** とタップします。

設定

接続する前に、Passport または Exchange アカウント情報を入力する必要があります。

アカウントをセットアップしてサインインするには、次の手順を実行します。

1. **スタート** ボタン → **プログラム** → **MSN Messenger** とタップします。
2. **ツール** をタップして、**オプション** をタップします。
3. **アカウント** タブで、Passport または Exchange アカウント情報を入力します。
4. サインインするには、サインイン画面をタップして、E- メールアドレスおよびパスワードを入力します。

連絡先の使い方

MSN Messenger ウィンドウに、**オンライン** および **オフライン** のカテゴリに分類されたすべてのメッセンジャー連絡先が表示されます。接続中に、このウィンドウでポップアップメニューを利用して、チャット、E- メールの送信、連絡先からのチャットのブロック、または一覧からの連絡先の削除が行えます。

メモ： コンピュータで既に MSN Messenger をお使いの場合、連絡先は追加しなくてもデバイスに表示されます。

オンラインのユーザーから見られることなく他のユーザーを確認するには、**ツール** → **状態** → **オフライン** とタップします。

連絡先をブロックした場合、お客様はオフラインとして表示されますが、ブロックされた連絡先一覧に残ります。連絡先のブロックを解除するには、連絡先をタップおよびホールドしてから、ポップアップメニューの **禁止解除** をタップします。

連絡先とのチャット

- 連絡先名をタップして、チャットウィンドウを開きます。画面下部のテキスト入力領域にメッセージを入力するか、**My Text**（定型文）をタップして、定型文メッセージを入力してから、**送信** をタップします。
- 別の連絡先をマルチユーザーチャットに誘うには、**ツール** をタップして、**招待** をタップしてから、誘う連絡先をタップします。
- チャットを終了せずにメインウィンドウに戻るには、**連絡先** アイコンをタップします。チャットウィンドウに戻るには、**チャット** をタップして、チャットをしていた相手を選択します。
- チャットの相手が応答したかを確認するには、テキスト入力領域の下でメッセージを探します。

MSN Messenger の使い方に関しては、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

Pocket PC 用 Microsoft Windows Media® Player

Pocket PC 用 Windows Media Player を使って、デバイスまたはネットワーク上のデジタルオーディオおよびビデオファイルを再生することができます。Pocket PC 用 Windows Media Player に切り替えるには、**スタート** ボタン → **プログラム** → **Windows Media** とタップします。

コンピュータの Windows Media Player を使って、デジタルオーディオやビデオファイルを Pocket PC にコピーできます。Pocket PC では、Windows Media および MP3 ファイルを再生できます。

Pocket PC 用 Windows Media Player の使い方に関しては、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。

9

Microsoft® Pocket Internet Explorer の使い方

Pocket Internet Explorer を使ってウェブまたは WAP ページを閲覧することができます。

- コンピュータとの同期化中に、コンピュータのお気に入りリンクと Internet Explorer 内の **モバイルのお気に入り** サブフォルダに保存されているモバイルのお気に入りをダウンロードします。
- ISP（インターネットサービスプロバイダ）またはネットワークに接続して、ウェブを閲覧します。インターネットへの接続に関しては、83 ページの「接続」を参照してください。

デバイスが ISP またはネットワークに接続されたら、ファイルおよびプログラムをインターネットまたはイントラネットからダウンロードできます。

Pocket Internet Explorer に切り替えるには、**スタート** ボタンをタップして、**Internet Explorer** をタップします。

モバイルのお気に入り

コンピュータで Microsoft Internet Explorer 5.0 以降をお使いの場合、お使いのデバイスにモバイルのお気に入りをダウンロードできます。モバイルのお気に入りを同期化すると、デバイスにウェブコンテンツがダウンロードされ、ISP やコンピュータに接続していなくても、ページの閲覧ができます。Microsoft ActiveSync® でインストールした Internet Explorer プラグインを使って、モバイルのお気に入りをすばやく作成できます。

コンピュータにモバイルのお気に入りを作成し、デバイスにダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. コンピュータで、Internet Explorer を開き、**ツール** → **モバイルのお気に入りの作成** とクリックします。
2. リンク名を変更するには、**名前** ボックスに新しい名前を入力します。
3. **更新** の横にあるアップデートスケジュールを指定します（オプション）。
4. **OK** をクリックします。

   Internet Explorer がページの最新バージョンを、コンピュータにダウンロードします。
5. コンピュータの Internet Explorer で、モバイルのお気に入りを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。

6 **ダウンロード** タブで、ダウンロードするレベルの深さを指定します。デバイスのメモリを節約するには、レベルの深さを 1 にします。

7 デバイスとコンピュータを同期化します。

Internet Explorer の **モバイルのお気に入り** フォルダに保存されているモバイルのお気に入りが、デバイスにダウンロードされます。

手順 3 でアップデートのスケジュールを指定しなかった場合、コンテンツを手動でダウンロードして、コンピュータとデバイスのデータを最新にする必要があります。デバイスと同期化を行う前に、コンピュータの InternetExplorer で **ツール** をクリックし、**同期** をクリックします。**最終更新日** コラムの日付は、コンピュータにコンテンツがダウンロードされた最後の日付です。必要に応じて、コンテンツを手動でダウンロードします。

メモ : モバイルのお気に入りを作成するためのアイコンを、Internet Explorer ツールバーに追加できます。コンピュータ上の **表示** → **ツールバー** とクリックして、**カスタマイズ** をクリックします。

メモリの節約

モバイルのお気に入りは、デバイスのメモリを使用します。メモリ使用量を最小限に抑えるには、以下を実行します。

- 画像や音を切ったり、ActiveSync オプションの **お気に入り** 設定で、デバイスへダウロードするモバイルのお気に入りの数を制限します。詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。
- ダウンロードするリンクの付いたページ数を制限します。コンピュータの Internet Explorer で、変更するモバイルのお気に入りを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。**ダウンロード** タブで、ダウンロードするリンク付きのページの数を **0** または **1** に設定します。

モバイルのお気に入りフォルダ

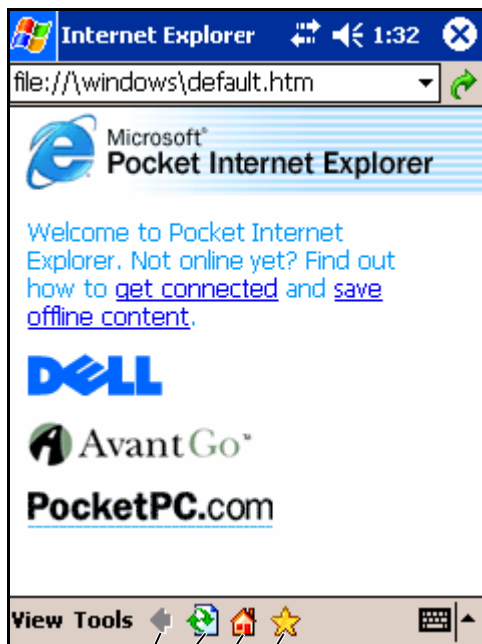
コンピュータの Internet Explorer の **モバイルのお気に入り** サブフォルダ（**お気に入り** フォルダ内）に保存されている項目のみ、デバイスと同期化されます。フォルダは、ActiveSync をインストールする際に、自動的に作成されています。

お気に入りのリンク

同期化中に、コンピュータの **モバイルのお気に入り** フォルダにあるお気に入り一覧が、デバイスの Pocket Internet Explorer と同期化されます。コンピュータとデバイスは、同期化するたびにどちらかの一覧に加えられた変更を更新します。モバイルのお気に入りとしてお気に入りリンクにマークを付けない限り、デバイスにはリンクのみがダウンロードされます。

コンテンツを閲覧するには、ISP またはネットワークに接続する必要があります。同期化の詳細に関しては、コンピュータの ActiveSync ヘルプを参照してください。

モバイルのお気に入りおよび Web

Pocket Internet Explorer を使って、インターネットに接続せずに、デバイスにダウンロードしたモバイルのお気に入りやチャネルを閲覧できます。ISP やネットワークに接続して、ウェブを閲覧をすることもできます。

モバイルのお気に入りとチャネルを閲覧するには、次の手順を実行します。

1 お気に入りアイコンをタップして、お気に入り一覧を表示します。
2 閲覧するページをタップします。

最後にコンピュータと同期化した際にダウンロードされたページが表示されます。ページがデバイス上にない場合、お気に入りは暗く表示されます。ページを閲覧するには、コンピュータと再度同期化して、デバイスにページをダウンロードするか、インターネットに接続する必要があります。

インターネットを閲覧するには、83 ページの「接続」で説明するように、**接続** を使って ISP か勤務先のネットワークへの接続をセットアップします。

メモ：お気に入りリンクを追加するには、追加するページに行き、ページをタップ&ホールドしてから **お気に入りに追加** をタップします。

インターネットに接続して閲覧するには、次の手順を実行します。

- お気に入りアイコンをタップして、閲覧するお気に入りをタップします。
- **表示** をタップして、**アドレスバー** をタップします。画面上部に表示されるアドレスバーで、閲覧するウェブアドレスを入力して、**開始** をタップします。矢印をタップして、以前に入力したアドレスを選択します。

10

接続

お使いのデバイスを利用して、他のモバイルデバイス、コンピュータ、ネットワーク、またはインターネットと情報のやり取りをすることができます。以下の接続オプションが利用できます。

- デバイスの赤外線のポートを使って、2 台のデバイス間でファイルを送受信します。詳細に関しては、「赤外線機能の使い方」を参照してください。
- お使いの ISP（インターネットサービスプロバイダ）に接続します。接続すると、受信を使用して、E- メールを送受信したり、Microsoft® Pocket Internet Explorer を使用したりして、Web または WAP ページを参照できます。ISP への接続を作成する通信ソフトは、デバイスにインストールされています。ポケットベルやファックスサービスなど、その他のサービスをインストールするソフトウェアは、ISP から提供されます。
- 勤務先の会社や団体のネットワークに接続します。接続すると、受信を使用して E- メールを送受信、Pocket Internet Explorer を使用して Web または WAP ページを参照、またコンピュータと同期化できます。
- コンピュータと接続してリモートで同期化します。接続が確立したら、Poket Outlook の情報などの同期化ができます。詳細に関しては、コンピュータの Microsoft ActiveSync® ヘルプ、またはデバイスの接続ヘルプを参照してください。

赤外線機能の使い方

赤外線機能を使って、連絡先や予定などの情報を 2 台のデバイス間で送受信できます。

データを送信するには、次の手順を実行します。

1 送信するアイテムを作成したプログラムに切り替え、一覧でアイテムを見つけます。

2 近い範囲内に障害物がないように、2 台の赤外線センサーの向きを揃えます。

3 アイテムをタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **ビーム xxxx** をタップします。ここで、xxxx は送信するアイテムです。

File Explorer からアイテム（フォルダを除く）を送信することもできます。送信するアイテムをタップ＆ホールドして、ポップアップメニューの **ファイルをビームする** をタップします。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジの使い方

Pocket PC 環境で Bluetooth ワイヤレステクノロジを搭載したデバイスを設定するには、以下の操作を実行します。

1 **Today**画面の右下隅で Bluetooth ワイヤレステクノロジのアイコン をタップします。
2 ポップアップメニューから、**Bluetooth Manager** を選択します。
3 Bluetooth ワイヤレステクノロジとの接続を確立するには、**新規** をタップします。
4 **Explore a Bluetooth device** をタップします。
5 接続したい Bluetooth ワイヤレステクノロジ搭載のリモートデバイスをタップします。
6 接続の作成に使用するサービスをタップします。
7 **完了** をタップして、接続を作成します。
8 **My Shortcuts** に作成された接続をタップ＆ホールドして、**接続** をタップします。
9 接続先のデバイスからパスキーを求められたら、そのパスキーを入力して、**OK** をタップします。

メモ：Bluetooth ワイヤレステクノロジ搭載のリモートデバイスからパスキーを取得する必要があります。

Bluetooth ワイヤレステクノロジとの接続が有効になり、使用する準備ができました。

メモ：Bluetooth ワイヤレステクノロジの使い方の詳細に関しては、デバイス上で **スタート** ボタン → **ヘルプ** → **Bluetooth** をタップして、Microsoft ヘルプにアクセスします。

Wi-Fi（802.11b）の使い方

PoketPC 環境でワイヤレスネットワークを設定するには、次の手順を実行します。

1 ワイヤレスボタンを押して、ワイヤレス機能をデバイスで有効にします。

2 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブをタップします。

3 プロファイルを追加、編集、削除するには、**ネットワークアダプタ** をタップします。

メモ: ネットワークカードアイコンをタップしても **Configure Wireless Networks** 画面が開かない場合は、お使いのデバイスにある WLAN/Bluetooth ワイヤレステクノロジのオン / オフボタンを押して無線通信を有効にします。

4 **ワイヤレスネットワークの設定** 画面で、利用可能なネットワーク名を選択します。

メモ : ネットワーク名が一覧に表示されていない場合、（モバイル）ワイヤレスクライアントステーションで利用する各ワイヤレスネットワークに対して、設定プロファイルを追加する必要があります。異なる設定が必要な複数のネットワーク環境でワイヤレスクライアントステーションをお使いになる場合、各環境に専用のプロファイルを定義することができます。たとえば、本社、支店、および 小規模オフィスまたは家庭向けの設定プロファイルを作成することができます。

a ネットワーク名がリストにない場合は、**新しい設定の追加** をタップしてネットワーク名を入力します。ドロップダウンメニューから **インターネット** または **Work** の接続方法を選択します。ピアツーピア接続を設定する場合は、**これはデバイスとデバイス間（アドホック）の接続です** チェックボックスをタップします。

b **Network Key** タブをタップして設定を調整します。暗号化を無効にするには、**認証** ドロップダウンメニューをタップして **Open** をタップします。ここで、**Data Encryption** ドロップダウンメニューから **Disabled** を選択します。

- **ネットワーク認証（共有モード）**を使用している場合は、**認証** ドロップダウンメニューをタップして **Shared** を選択し、**Data Encryption** ドロップダウンメニューから該当する暗号化方法を選択します。

- 暗号化を要求して自動的にキーが提供された場合、**自動的に提供されるキーを使用する** チェックボックスのチェックを外すと、暗号化キーを自分で入力することができます。キー値は英数値または 16 進値で入力できます。暗号化キーでは、大文字と小文字は区別されます。正しい値に関しては、LAN 管理者に問い合わせるか、またはワイヤレスルーターのマニュアルを参照してください。

IEEE 802.1x オプションをお使いの場合、まず認証サーバーに接続されている 802.1x 以外が有効なワイヤレスネットワークから、認証を取得する必要があります。一覧から、802.1x 以外が有効になっているワイヤレスネットワークを選んで設定します。

モデム接続の作成

1 シリアルポートを介して外付けモデムをデバイスに接続するために、モデムカードおよび適切なアダプタを取り付けます。

2 ISP から以下の情報を入手します。

   - ISP ダイヤルアップアクセスの電話番号

   - ユーザー名とパスワード

   - TCP/IP 設定

   ISP によっては、MSN/username などのようにユーザー名の前に入力が必要なところもあります。

3 **スタート** ボタン→ **設定**→ **接続** タブ→ **接続** をタップします。

4 **My ISP** または **社内ネットワーク設定** 領域で、**新しいモデム接続の追加** をタップします。

5 `ISP Connection` などの接続名を入力します。

6 **モデムの選択** 一覧から、モデムのタイプを選び、**次へ** をタップします。

   使用しているモデムタイプが表示されない場合、モデムカードを差し込み直してみてください。ケーブルでデバイスに接続されている外付けモデムを使用している場合、**COM1 上のヘイズ互換モデム** を選択します。

7 アクセス用の電話番号を入力し、**次へ** をタップします。

8 ユーザー名、パスワード、および必要に応じて、ドメインを入力します。

メモ : 詳細設定 の設定を変更する必要はありません。ほとんどの最近の ISP は、アドレスを動的に割り当てます。

9 接続先の ISP がアドレスを動的に割り当てない場合、**詳細設定** をタップし、**TCP/IP** タブをタップしてから、アドレスを入力します。

10 **次へ** をタップします。

11 他の該当するオプションを選択して、**完了** をタップします。

受信、Pocket Internet Explorer、または MSN Messenger を開くと、デバイスが自動的に接続されます。接続後、以下のことが可能です。

- 受信を使用して、E- メールを送受信する。受信を使用するには、受信がメールサーバーとの通信に必要な情報を提供する必要があります。詳細に関しては、89 ページの「E-メールサーバーとの直接接続」を参照してください。

- Pocket Internet Explorer の使い方に関しては、ウェブまたは WAP ページを参照してください。詳細に関しては、79 ページの「Microsoft® Pocket Internet Explorer の使い方」を参照してください。
- MSN Messenger によるインスタントメッセージの送受信。詳細は、75 ページの「MSN Messenger」を参照してください。

Ethernet 接続の作成

1 ネットワーク管理者に問い合わせて、ユーザー名、パスワード、およびドメイン名を取得します。

2 必要に応じて、ネットワークカードドライバをインストールします。詳細に関しては、ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。

3 初めてネットーワークカードを挿入すると、ネットワーク設定ウィンドウが自動的に表示され、ここでネットワークカードを設定できます。後で設定を変更する場合は、**スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** をタップします。

4 特定のサーバー情報を入力する必要がある場合は、該当するアダプタをタップし、**プロパティ** をタップします。プロキシサーバーおよび VPN 接続の設定を入力する必要がある場合があります。詳細に関しては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

メモ : ほとんどのネットワークでは DHCP を使用しているので、ネットワーク管理者からの指示がない限り、これらの設定を変更する必要はありません。

5 必要であれば、ネットワークケーブルを使ってネットワークカードをネットワークに接続します。詳細に関しては、ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。

VPN 接続の作成

1 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** をタップします。
2 **新しい VPN サーバー接続の追加** をタップします。
3 接続名を入力します（会社名など）。
4 **ホスト名 / IP** フィールドで、VPN サーバー名または IP アドレスを入力します。
5 デバイスに使用したい認証のタイプによって、**VPN の種類** の隣にある **IPSec** または **PPTP** をタップします。

   選択するオプションがわからない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

6 **次へ** をタップして、ユーザー名、パスワード、および必要な場合はドメインを入力します。
7 必要に応じて、ネットワークカードドライバをインストールします。詳細に関しては、ネットワークカードに付属のマニュアルを参照してください。
8 デバイスにネットワークカードを挿入します。

   • ブロードキャスト SSID のあるネットワークが検出された場合、ワイヤレスネットワークアイコン および **新しいネットワークが検出されました** バブルが、ナビゲーションバーに表示されます。手順 9 に進みます。

   • ブロードキャスト SSID とのネットワークが検出されない場合、手順 10 に進んでください。

9 **既定のインターネット設定** をタップします。

メモ : 複数のネットワークが検出された場合、接続するネットワークをタップし、**既定のインターネット設定** をタップして、**接続**をタップします。

10 **スタート** ボタン → **設定** → **接続** タブ → **接続** をタップします。
11 **ワイヤレスイーサネット** アイコンをタップします。
12 **ワイヤレス** タブで、**新しい設定の追加** をタップします。
13 **ネットワーク名** の横に SSID を入力して、**既定のインターネット設定** をタップします。
14 ネットワークのタイプによって、**認証** タブをタップして、WEP 設定を有効または無効します。
15 **OK** をタップします。
16 ナビゲーションバーに表示される接続アイコン をタップします。
17 有効にする VPN 接続名をタップします。

接続の終了

接続を切断するには、次の手順を実行します。

- ダイヤルアップまたは VPN を介して接続されている場合は、ナビゲーションバーにある接続アイコン をタップして、**終了** をタップします。
- ケーブルまたはクレードルを介して接続した場合、ケーブルまたはクレードルからデバイスを外します。
- 赤外線センサーを介して接続した場合、コンピュータからデバイスを遠ざけます。
- ネットワーク（Ethernet）カードを介して接続した場合、デバイスからカードを取り出します。

E- メールサーバーとの直接接続

メールサーバーへの接続を設定し、モデムやネットワーク接続とデバイスの受信を使用して、E- メールメッセージの送受信ができます。

メモ : ISP またはネットワークに、POP3 または IMAP4 対応のメールサーバーと SMTP ゲートウェイがある必要があります。

複数の E- メールサービスを使って、メッセージを受信できます。利用する各メールサービスで、メールサービスをセットアップして名前を付ける必要があります。

別のメールボックスに接続するのに同じサービスを使う場合、各メールボックス接続をセットアップして、名前を付けます。

メールサービスをセットアップするには、次の手順を実行します。

1 デバイスの **受信** で、**アカウント** をタップして、**新規アカウント** をタップします。
2 E- メールセットアップウィザードの指示に従います。

詳細に関しては、**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップしてください。

メールサーバーに接続するには、**アカウント**、**接続** の順にタップします。受信プログラムの使い方の詳細に関しては、58 ページの「受信」を参照してください。

接続方法のヘルプの取得

接続方法の詳細に関しては、以下を参照してください。

- 58 ページの「受信」
- デバイスのオンラインヘルプ。**スタート** ボタンをタップして、**ヘルプ** をタップします。**受信** または **接続** をタップします。
- コンピュータの ActiveSync Help。ActiveSync で、**ヘルプ** をクリックして、**Microsoft ActiveSync ヘルプ** をクリックします。
- トラブルシューティングに関しては、www.microsoft.com/japan/windowsmobile を参照してください。

11

付録

仕様

システム情報	
プロセッサ	Intel® XScale™ PXA270 プロセッサ、最大 624 MHz
メモリ	
RAM	64 MB SDRAM
ROM	128 MB の Intel® StrataFlash™ ROM
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows Mobile™ 2003 Second Edition

ディスプレイ	
タイプ	QVGA、VGA TFT カラー 16 ビット、タッチ検知、半透過型ディスプレイ
サイズ	3.5 インチ（QVGA）
	3.7 インチ （VGA）
解像度	240 x 320、65,536 色（QVGA）
	480 x 640、65,536 色（VGA）
LCD 輝度	QVGA：100 nit
	VGA：80 nit

ボタンとライト	
ナビゲーション	5 方向ナビゲーションボタン
ボタン：	プログラムボタン 4 種：予定表ボタン、連絡先ボタン、受信ボタン、ホームボタン
	電源オン / オフ
	WLAN/Bluetooth® ワイヤレステクノロジのオン / オフボタン

ボタンとライト （続き）	
	録音ボタン
	リセットボタン
	ロックボタン
ライト：	同期化 / 通信
	イベント通知
	充電ステータス

拡張スロット	
SD メモリカード	SD メモリカードスロット（3.3v）x 1
	1 ビットおよび 4 ビット SDIO カードをサポート
CompactFlash カード	CompactFlash タイプ II カードスロット（3.3v）x 1

ポートとコネクタ	
赤外線ポート	標準 v1.2（115 kbps）
クレードル / 同期化コネクタ	36 ピンコネクタ
オーディオ	ステレオヘッドフォンコネクタおよびモノマイクコネクタ

サイズと重量	
寸法：	
縦幅	119.0 mm
横幅	73.0 mm
奥行き	16.9 mm
重量	165 g QVGA、標準バッテリー付
	175 g VGA、標準バッテリー付 **メモ：**ここに記載されている重量はデバイスだけの重量であり、CompactFlash カードや SD メモリカードの重量は含まれていません。

オーディオ	
オーディオコントローラ	WM8750L サウンドチップ
ステレオ変換	16 ビットステレオ；8.0、11.025、22.05、および 44.1 KHz サンプルレート
録音	全二重方式録音および再生
マイク / スピーカー	統合
ヘッドフォン	ステレオコネクタ

ワイヤレス接続	
WLAN（802.11b）	
ネットワーク標準	IEEE 802.11b
データ転送速度	1 Mbps、2 Mbps、5.5 Mbps、11 Mbps
変調	CCK（11 Mbps、5.5 Mbps）、DQPSK（2 Mbps）、DBSPK（1 Mbps）
ネットワークアーキテクチャ	アドホックおよびインフラストラクチャ
動作周波数	2.4–2.497 GHz
動作チャネル	1–11 (北米)；1–13 (ヨーロッパおよび日本)
RF 出力	最大 13.0 dBm
範囲	室内 — 5 Mbps で 最高 10 m、0.5 Mbps で 最高 75 m
クライアントユーティリティ	自動ロケーションプロファイル、サイト調査、診断、現在のリンク状況、Ping
ソフトウェアのサポート	Wi-Fi 認定済み
ライト	緑（WLAN ステータス） 青（Bluetooth ワイヤレステクノロジステータス）
スイッチ	マニュアルラジオのオン / オフ（ハードウェアボタンおよびソフトウェアスイッチ）、航空規制準拠

ワイヤレス接続 （続き）	
Bluetooth ワイヤレステクノロジ	2.4 GHz ISM 帯域幅の動作、ワイヤレステクノロジの Bluetooth の管理機能、Class II デバイス、最大 4 dBm の o/p 電力、3.3V 動作、UART インタフェースを含む Bluetooth 1.2 ワイヤレステクノロジ対応

電源装置	
バッテリータイプ：	
メイン	1100 mAh リチウムイオン、リムーバブル、充電式バッテリー（標準）
	2200 mAh リチウムイオン、リムーバブル、充電式バッテリー（オプション）
バックアップ	20 mAh 再充電可能ニッケル水素ボタンセル
AC アダプタ :	
電圧	100 ～ 240 VAC
周波数	50 ～ 60 Hz
消費電力	0.4 A
出力電圧 :	5.4 VDC
出力電流	2.41 A

環境	
温度範囲 ：	
動作時	0 ～ 40 ℃
保管時	–20 ～ 60 ℃
温度変化：	
動作時	1 時間当たり最大 15 ℃
保管時	1 時間当たり最大 20 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10 ～ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ～ 95 %（結露しないこと）
高度（最大）：	

環境 （続き）	
動作時	0 ～ 3,048 m
保管時	0 ～ 12,190 m
最大衝撃（2 ミリ秒の正弦半波パルスで測定):	
動作時	200 G
保管時	400 G
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用したとき）:	
動作時	2.6 GRMS
保管時	3.41 GRMS

Dell™ ソフトウェアライセンス契約

本契約書は、ユーザーであるお客様と Dell Products, L.P（以下「Dell」とします）との法的な契約となります。本契約書は 、Dell 製品に同梱されているすべてのソフトウェアに適用されます。お客様と製造者または本ソフトウェア所有者（以下、総称として「ソフトウェア」とします）間で個別にライセンス契約を締結することはできません。本契約書は、ソフトウェアまたは知的所有権の販売のためのものではありません。ソフトウェアに対するおよびソフトウェアに含まれる、すべての所有権と知的所有権は、ソフトウェアの製造者または所有者が所有しています。本契約書の下に明確に認められていない権利については、ソフトウェアの製造者または所有者にあります。本ソフトウェアのパッケージを開梱または開封したり、本ソフトウェアをインストールまたはダウンロードしたり、あらかじめ本製品にロードされているまたは組み込まれている本ソフトウェアを使用したりされますと、本契約書の条項に同意したとみなされます。これらの条項に同意できない場合は、すべてのソフトウェア製品（ディスク、印刷物、およびパッケージ）をただちに返却し、あらかじめ本製品にロードされているまたは組み込まれているソフトウェアを削除してください。

1 つの製品では一度に 1 つのソフトウェアのコピーを使用できます。お客様がソフトウェアに対して複数のライセンスをお持ちの場合は、持っているライセンスの数と同数のコピーをいつでも使用することができます。「使用」という言葉は、ソフトウェアを製品の一時記憶装置または永久記憶装置にロードすることを意味します。ソフトウェアが配布される各製品に対して別個のライセンスをお持ちの場合に限り、他の製品へ配布するためにネットワークサーバーにインストールすることは「使用」ではありません。ネットワークサーバーにインストールされたソフトウェアを使用するユーザー数が、ライセンス数を超えないようにしてください。ネットワークサーバーにインストールされた本ソフトウェアを使用するユーザー数がライセンス数を超える場合は、ユーザー数と同数のライセンスを購入してから本ソフトウェアの使用を許可してください。お客様が Dell の販売会社または Dell の関連会社から製品をご購入された場合、お客様は、Dell または Dell により指名された代理人に対して、通常の営業時間内に本ソフトウェア使用に関する監査を行う権利を付与すること、このような監査では Dell に協力することに同意すること、かつ、本ソフトウェア使用に関連するすべての記録を Dell に提供することに同意したとみなされます。監査は、お客様が本契約書の条項を遵守しているかに関する確認に限定されます。

本ソフトウェアはアメリカ合衆国の著作権法および国際条約によって保護されています。本ソフトウェアは、バックアップまたはアーカイブの目的でのみ、複製を一部作成できます。また、オリジナルのソフトウェアをバックアップまたはアーカイブの目的でのみ保存することを条件として、一台のハードディスクに本ソフトウェアをインストールできます。お客様は、本ソフトウェアを賃貸またはリースしたり、本ソフトウェアに同梱の印刷物を複製することはできません。ただし、お客様が複製を保持せず、被譲渡者が本条項に同意した場合は、ソフトウェアおよびすべての同梱物を Dell 製品の販売または譲渡の一部として永久的に譲渡することができます。譲渡する場合は、必ず最新のアップデートとすべての旧バージョンが含まれていなければなりません。本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブリを行わないでください。製品についているパッケージには、コンパクトディスク、3.5 インチおよび / または 5.25 インチディスクが入っており、製品に適したディスクのみを使用することができます。他の製品またはネットワークでそれらのディスクを使用したり、本契約書で許可される以外の他のユーザーに、貸与、賃貸、リース、または譲渡することはできません。

限定保証

Dell では、お客様に本ソフトウェアディスクが配送された日から 90 日間、通常の使用において材質または製作上の欠陥を生じないことを保証いたします。この保証はお客様に限定され、譲渡することはできません。すべての黙示的保証は、お客様が本ソフトウェアを入手した日から 90 日間に制限されます。国や地域によっては黙示的保証期間が制限されることがないので、この限定保証はお客様に適用されない場合があります。デルおよびその供給業者の責任範囲およびお客様の救済措置は、次のいずれかに制限されます。（a）ソフトウェアの購入代金を返却する。（b）お客様のコストとリスクの下で、本保証を満たさないソフトウェアが返却許可番号付きでデルに返却された場合は、新しいソフトウェアと交換する。いかなる事故、誤用、乱用、またはデルサポート以外のサービスや修正が原因でソフトウェアの機能に不具合が生じた場合は、本限定保証は無効となります。交換されたソフトウェアの保証期間については、オリジナルのソフトウェアの残余保証期間または 30 日間のいずれか長い方が適用されます。

デルは、ソフトウェアの機能がお客様の要求に合うこと、またはソフトウェアの動作が妨げられない、またはエラーがないことは保証しません。お客様が期待する成果を得るためのソフトウェアの選択、使用、および使用結果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

デルおよびその供給業者は、ソフトウェアおよびそれに付随するすべての印刷物に関して、明示的または黙示的であることを問わず、その他一切の保証及び条件の要求は受けません。商品適格性および特定目的への適合に関する黙示的保証および条件を含みますが、これらに限定されるものではありません。本限定保証は、特定の法的権利をお客様に与えるものです。お客様は、管轄ごとに異なる権利を有することもあります。

ソフトウェアの使用範囲外での使用や、使用できなかった場合に起きた利益の損失、営業の中断、データの消失、金銭的喪失などあらゆる損害に対し、デルまたはその供給業者は、そうした損害の可能性を示唆していたとしても、責任は負いません。国や地域によっては、偶発的または必然的な損害に対する責任の除外や制限が禁じられているため、一部のお客様には上記の制限が適用されない場合があります。

アメリカ合衆国政府の権利制限

ソフトウェアおよびマニュアルは、48 C.F.R. 2.101 に規定される "commercial items"（販売用アイテム）であり、48 C.F.R. 12.212 にて使用されている "commercial computer software"（販売用コンピュータソフトウェア）および "commercial computer software documentation"（販売用コンピュータソフトウェアマニュアル）からなります。48 C.F.R. 12.212 および 48 C.F.R. 227.7202-1 から 227.7202-4 までで一貫してあるように、すべての米国政府のエンドユーザーは、ここに述べられる権利とともにソフトウェアおよびマニュアルを取得します。契約者 / 製造者は Dell Products, L.P. であり、その所在地は One Dell Way, Round Rock, TX 78682 です。

一般的注意事項

本ライセンスは解除されない限り有効です。上記に定められている条件により、または、本契約条項に従わない場合に本契約は解除されます。解除の際は、お客様は本ソフトウェアとその同梱物、およびすべての複製を破棄するものとします。本契約は、テキサス州法に定められています。本契約書の条項は分離されることがあります。施行できない条項があることが判明しても、本契約書の他の条項、条件、または要件の施行には影響しません。本契約書は、被譲渡者および譲渡者を拘束します。デルおよびお客様は、本ソフトウェアまたは本契約書に関して、陪審による裁判を受ける権利を法律で認められた範囲内で放棄することに合意します。本権利放棄が無効な国や地域では、適用されない場合があります。本契約書をお読みになり、ご理解のうえ、また条件に同意し、本契約書が本ソフトウェアに関するお客様とデルとの契約の完全かつ独占的条件であることをご確認ください。

認可機関の情報

EMI（電磁波障害：Electromagnetic Interference）とは、自由空間に放射または電源コードや信号線に伝導する信号または放射電磁波のことで、無線航海やその他の安全サービスを危険にさらしたり、認可された無線通信サービスの著しい質の低下、妨害、または度重なる中断を発生させます。無線通信サービスには、AM/FM の商業放送、テレビ、および携帯電話の各種サービス、レーダー、航空交通管制、ポケットベル、PCS（Personal Communication Services）などがありますが、これらに限定されません。これらの認可サービスは、コンピュータを含むデジタル装置などの意図的ではない放射装置と同じく、電磁環境に影響を与えます。

電磁両立性は、電子接続のアイテムが電子環境で正しく機能できることです。本コンピュータは、認可機関の EMI に関する制限に準拠する設計がなされており、適合していますが、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。この装置が無線通信サービスに対して干渉するかどうかはその装置の電源をオンまたはオフにすることによって判定できますので、以下の方法を 1 つまたはそれ以上実施して問題を解決してください。

- 受信アンテナの方向を変えてください。
- 受信機に対してコンピュータを再配置してください。
- 受信機からコンピュータを遠ざけてください。
- コンピュータを別のコンセントにつないで、コンピュータと受信機を別々の分岐回路上に置いてください。

詳細に関しては、デルテクニカルサポート担当者またはラジオ / テレビの技術者にご相談ください。

Dell™ コンピュータは、下記の使用環境目的に合わせた設計、試験、類別がなされています。これらの電磁環境の類別は、一般に以下の統一定義を表しています。

- クラス A — 主として商工業環境用
- クラス B — 主として住宅環境用

情報技術装置（ITE；Information Technology Equipment）は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力（I/O）装置、モニターなどを含み、コンピュータに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別に適合しなければなりません。

シールド付き信号ケーブルに関する注意：周辺機器のデル製装置への接続にはシールド付きケーブルのみを使用して、無線通信サービスとの干渉の可能性を減らしてください。シールド付きケーブルを使用すると、環境に適した電磁両立性**分類を保守できます。**

大半の Dell コンピュータは、クラス B 環境に分類されています。ただし、コンピュータに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A 情報技術装置に類別されることもあります。お使いのコンピュータまたはデバイスの電磁波的分類を確認するには、次項を参照してください。以下の項には、EMC/EMI または製品の安全性に関する情報が記載されています。

VCCI 規定（情報処理装置等電波障害自主規制協議会規定）

大半の Dell コンピュータは、VCCI によりクラス B 情報技術装置（ITE）として類別されています。ただし、コンピュータに特定のオプションを付加することにより、一部の構成はクラス A 情報技術装置に類別されることもあります。情報技術装置は、周辺機器、拡張カード、プリンタ、入出力（I/O）装置、モニターなどを含み、システムに統合または接続されるもので、コンピュータの電磁環境の類別（クラス A またはクラス B）に適合しなければなりません。

お手元のコンピュータにどちらの類別が適用されているかを確認するには、コンピュータの底面、側面、または背面パネルに添付されている VCCI 表示ラベル（「VCCI クラス A 情報技術装置基準」および「VCCI クラス B 情報技術装置基準」のラベルを参照）をすべて調べてください。VCCI の類別を確認できましたら、次の該当する部分をご覧ください。

Class B 情報技術装置基準

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の
基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で
使用することを目的としていますが、ラジオやテレビジョン受信機
に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI クラス B ITE 認定マーク

お使いのコンピュータに貼付されているラベルに次のマークが含まれている場合、お使いのコンピュータはクラス B です。

ワイヤレス 認可機関の情報

Dell™ Axim™ X50 は、製品に付属のユーザーマニュアルで説明されているように、製造元の取り扱い説明に基づいて使用する必要があります。お住まいの国の特定の認可に関しては、無線認可を参照してください。本製品に含まれるデバイスに無許可で変更を加えた場合、または Dell Inc. が指定しない接続ケーブルや装置に取り換えたり増設した場合に発生するラジオやテレビへの干渉に関しては、Dell Inc. は一切責任を負いません。このような許可のない変更、置換または取り付けにより生じた干渉の修正は、ユーザー側の責任になります。Dell Inc. および正規再販売業者または販売業者は、ユーザーがこれらのガイドラインに従わないことによって起こる可能性のある損害または政府規制への違反に対して一切責任を負いません。

日本標準

STD-T66 (Ver 1.0)

無線許可

特定の国でワイヤレスネットワークデバイスの使用が許可されているかどうかを調べるには、お使いのデバイスの ID ラベルに印刷されている無線の種類の番号が、**support.jp.dell.com** の一般的なデルサポートサイトに記載されている無線許可一覧にあるかどうかを確認してください。

デルへのお問い合わせ

Dell™ に E- メールで問い合わせる場合は、以下のウェブサイトからアクセスできます。

- **www.dell.com/jp**
- **support.jp.dell.com**（テクニカルサポート）

メモ : フリーダイヤル番号は、その番号が記載されている国で使用できます。

デルへお問い合わせになるときは、デルの電話番号、E- メールアドレスをまとめた次の表を参照してください。どのコードを選択するかは、どこから電話をかけるか、また受信先によっても異なります。さらに、国によって国際電話のかけ方も変わってきます。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） **国際電話アクセスコード** **国番号市外局番**	**部署名またはサービス地域、ウェブサイトおよび E- メールアドレス**	**市内番号** **フリーダイヤル**
日本（川崎） 国際電話アクセスコード：**001** 国番号：**81** 市外局番：**44**	ウェブサイト：**support.jp.dell.com**	
	テクニカルサポート（PDA、プロジェクタ、プリンタ、ルーター）	フリーダイヤル：0120-981-690
	テクニカルサポート（海外から）（PDA、プロジェクタ、プリンタ、ルーター）	81-44-556-3468
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300

デル製品の保証および返品について

『サービス＆サポートのご案内』をご覧ください。

用語集

802.11 (Wi-Fi) — 中距離内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジ — 短距離（10 メートル）内にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジ標準です。

コンパクトフラッシュカード — デバイス機能の拡張に使用されるリムーバブルカードです。一般的な コンパクトフラッシュカードには、メモリおよびワイヤレスカードがあります。

クレードル — 携帯デバイスをコンピュータと同期化し、バッテリーを充電して、AC 電源で実行できるようにするデバイスです。

DHCP — dynamic host configuration protocol（動的ホスト構成プロトコル）— ネットワーク管理者が、ネットワークのコンピュータへの Internet Protocol アドレス割り当てを管理および自動化できる通信プロトコルです。

IMAP — Internet message access protocol（インターネットメッセージアクセスプロトコル）— サーバーから E- メールにアクセスできるようにする標準クライアント / サーバープロトコルです。IMAP を使用すると、E- メールをサーバー上で保管および閲覧できます。

赤外線センサー — ケーブルを使用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

ISP — Internet service provider（インターネットサービスプロバイダ）— インターネットへの接続、電子メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスを行うためにホストサーバーへのアクセスを提供する機関です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料（月払い）で提供します。

LAN — local area network（ローカルエリアネットワーク）— 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を介して他の離れた LAN と接続し、WAN（ワイドエリアネットワーク）を構成できます。

PIM — personal information manager（スケジュール管理）— 予定表、連絡先、受信、仕事など、個人情報を保存および整理するプログラムです。

POP3 — post office protocol 3（ポストオフィスプロトコル 3）— サーバーから E- メールにアクセスできるようにする標準クライアント / サーバープロトコルです。POP3 を使用して、E- メールをローカルシステムにダウンロードして、メッセージを表示および閲覧します。

RAM — random-access memory（ランダムアクセスメモリ）— プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存される情報は、リセットを実行すると失われます。

RAS — remote access server（リモートアクセスサーバー）— ユーザーがリモートロケーションからネットワークにアクセスできるようになるサーバーです。

ROM — read-only memory（読み取り専用メモリ）— コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。ROM は、RAM とは異なり、リセット実行後でも内容を保持します。デバイスの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory（同期ダイナミックランダムアクセスメモリ）— マイクロプロセッサの最適クロック速度と同期された DRAM の一種です。

SD メモリカード — デジタルカメラ、携帯デバイス、携帯電話などのデバイスで一般的に使用されるリムーバブルメモリです。SD メモリカードはおおよそ郵便切手ほどのサイズです。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

SMS — short message service（ショートメッセージサービス）— ショートメッセージをワイヤレスデバイスに送信できるサービスです。

SMTP — simple mail transfer protocol — E- メールの送受信に使用されるプロトコルです。SMTP は通常、POP3 または IMAP と使用されます。

Sync ケーブル — 携帯デバイスをコンピュータに接続しファイルを転送または同期化するときに使用されるケーブルです。

同期化 — ある場所のファイルを別の場所にある最新のファイルで置き換えることを自動的に実行するプロセスです。たとえば、コンピュータのファイルを携帯デバイスのファイルと同期化できます。

TCP/IP — transmission control protocol/Internet protocol — インターネットの基本通信言語です。TCP/IP は、イントラネットまたはエクストラネットの通信プロトコルとしても使用できます。

USB — universal serial bus — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、ブロードバンドデバイス（DSL およびケーブルモデム）、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットかコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

VPN — virtual private network — リモートユーザーが安全にネットワークにアクセスできる通信プロトコルのセットです。

WAP — wireless application protocol — ワイヤレスデバイスがインターネットにアクセスする方法の標準です。

索引

と

な

に

ね

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

も

よ

り

れ